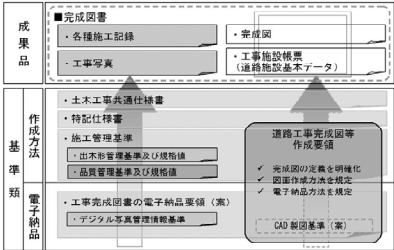
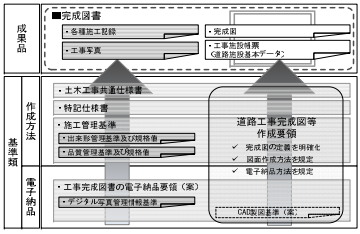


道路工事完成図等作成要領（改定版） 新旧対照表

番号	対象箇所、趣旨	平成18年8月版	改定版（平成20年3月）	修正理由
(1)	<p>I. 共通編 1. 目的</p> <p>共通仕様書への記載を反映 完成縦断面図に関する記載の追加</p>	<p>I. 共通編</p> <p>1. 目的</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>本要領は、土木工事共通仕様書で定める道路工事における「完成図」に関わる定義を明確化し、完成図の構成およびその作成要領を示すとともに、完成図の電子納品の方法を示すことにより、竣工時に作成する完成図等の取り扱いを明確にすることを目的とする。</p> </div> <p>【解説】</p> <p>道路工事における「完成図」は、土木工事共通仕様書 第3編 1-1-7「数量の算出及び完成図」でその作成と提出を求めているが、明確な定義や扱う範囲、および具体的な作成方法等に関する記載が無いため、地方整備局によっては独自の定義に基づく作成が行われており、出来形図との使い分け等を含めた定義の統一が必要となっている。</p> <p>また一方で、その実施状況を見ると、平成16年度以降、電子納品が全ての道路工事へ適用されたにもかかわらず、発注者が電子データを貸与できない場合、土木工事共通仕様書に基づく個々の協議により電子納品されないことも多く、道路事業における CALS/EC 普及の足枷となっている。このため、ニーズと現状を踏まえた上で、必要な情報については順次電子化を進めていく必要があり、特に維持管理に必要な電子情報は確実に電子納品されるよう義務付けるべきである。</p> <p>電子納品された完成図は、その後の維持管理での利活用や次工事以降における現道情報として再利用され、特に維持管理段階においては、電子化されたデータの利用効果が高いと考えられる。さらに将来的には、工事の状況把握や安全運転支援など、ITS への利用等も考えられる。よって、完成図の電子化にあたっては、共通利用が可能で、必要な情報を持つ質の高い CAD データの整備・流通が望まれ、そのためには一定の品質を確保するための標準仕様を定める必要がある。</p> <p>このような背景から、本要領では、共通仕様書における「完成図」を定義し、主要な工事区分における標準的な構成等を示すとともに、本要領の適用により電子納品を必須とする工事について規定することとした。また併せて、完成図の具体的な作成方法や電子納品の方法等について要領を定めることとした。</p> <p>（補足）</p> <p>本要領は、当面、「完成平面図」および「工事施設帳票」の2章構成として運用を開始し、これらを優先して電子納品によるデータ収集を行うものとする。なお、これらは図1に示すような関係を有しており、道路の幾何形状（完成平面図）と施設諸元情報（工事施設帳票）として、ともに維持管理段階において有効利用されるものとなる。</p> <p>将来的には、本編「4. 構成」に規定するその他の完成図について順次追加することで、電子データ整備の範囲を拡張し、道路事業全体における情報流通環境を整備する予定である。</p>	<p>I. 共通編</p> <p>1. 目的</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>本要領は、土木工事共通仕様書で定める道路工事における「完成図」に関わる定義を明確化し、完成図の構成およびその作成要領を示すとともに、完成図の電子納品の方法を示すことにより、竣工時に作成する完成図等の取り扱いを明確にすることを目的とする。</p> </div> <p>【解説】</p> <p>道路工事における「完成図」は、これまでも土木工事共通仕様書でその作成と提出を求めているものの、明確な定義や扱う範囲、および具体的な作成方法等に関する記載が無かったため、地方整備局によっては独自の定義に基づく作成が行われており、出来形図との使い分け等を含めた定義の統一が必要となっていた。</p> <p>また一方で、その実施状況を見ると、平成16年度以降、電子納品が全ての道路工事へ適用されたにもかかわらず、発注者が電子データを貸与できない場合、土木工事共通仕様書に基づく個々の協議により電子納品されないことも多く、道路事業における CALS/EC 普及の足枷となっている。このため、ニーズと現状を踏まえた上で、必要な情報については順次電子化を進めていく必要があり、特に維持管理に必要な電子情報は確実に電子納品されるよう義務付けるべきである。</p> <p>電子納品された完成図は、その後の維持管理での利活用や次工事以降における現道情報として再利用され、特に維持管理段階においては、電子化されたデータの利用効果が高いと考えられる。さらに将来的には、工事の状況把握や安全運転支援など、ITS への利用等も考えられる。よって、完成図の電子化にあたっては、共通利用が可能で、必要な情報を持つ質の高い CAD データの整備・流通が望まれ、そのためには一定の品質を確保するための標準仕様を定める必要があった。</p> <p>このような背景から、本要領では、共通仕様書における「完成図」を定義し、主要な工事区分における標準的な構成等を示すとともに、本要領の適用により電子納品を必須とする工事について規定することとした。また併せて、完成図の具体的な作成方法や電子納品の方法等について要領を定めることとした。</p> <p>なお、平成19年度4月より、土木工事共通仕様書では、第1編 1-1-19「工事完成図」において、本要領に基づく電子納品が義務付けられた。</p> <p>（補足）</p> <p>本要領は、当面、「完成平面図」、「完成縦断面図」および「工事施設帳票」の3章構成で運用し、電子納品によるデータ収集を行うものとする。なお、「完成平面図」と「工事施設帳票」は図1に示すような関係を有しており、道路の幾何形状（完成平面図）と施設諸元情報（工事施設帳票）として、ともに維持管理段階において有効利用されるものとなる。</p> <p>将来的には、本編「4. 構成」に規定するその他の完成図について順次追加することで、電子データ整備の範囲を拡張し、道路事業全体における情報流通環境を整備する予定である。</p>	<p>土木工事共通仕様書に本要領が明記されたことによる表現の見直し</p> <p>縦横断情報の基となる情報として完成縦断面図の納品を新たに求めるため</p>

番号	対象箇所、趣旨	平成18年8月版	改定版（平成20年3月）	修正理由
(2)	<p>1. 共通編 2. 用語の解説</p> <p>完成縦断面図に関する記載の追加</p> <p>対象とするSXF仕様をSXF Ver. 3. 0からSXF Ver. 3. xに変更</p>	<p>2. 用語の解説</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>1) 完成図 契約図面に基づいて完成した工事目的物の完成形状を示した図面</p> <p>2) 完成平面図 本要領で定義する完成図のうちの平面図</p> <p>3) 工事施設帳票 当該工事に関連する道路施設の諸元等を取りまとめた帳票</p> </div> <p>—</p> <p>8) SXF SXFは、Scadec data eXchange Formatの略称であり、ISO規格であるSTEP AP202に準拠したCADデータ交換仕様である。線や円、文字、寸法線、およびハッチングなど図形情報のみを対象とする仕様をVer.2（以下SXF Ver.2.0）といい、これに加え図形情報に対して属性情報を付与できる仕様をVer.3（以下SXF Ver.3.0）という。SXF Ver.2.0では物理ファイルが図面ファイル（.sfd/.p21）のみであるのに対し、SXF Ver.3.0では物理ファイルが図面ファイル（.sfd/.p21）と属性ファイル（.saf, XML形式）に分かれている。ただし、SXF Ver.3.0の仕様のうち、図形情報に関する仕様はSXF Ver.2.0との下位互換性を確保している。詳細については、「SXF Ver.3.0仕様書」（建設情報標準化委員会CADデータ交換標準小委員会）を参照のこと。</p>	<p>2. 用語の解説</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>1) 完成図 契約図面に基づいて完成した工事目的物の完成形状を示した図面</p> <p>2) 完成平面図 本要領で定義する完成図のうちの平面図</p> <p>3) 完成縦断面図 本要領で定義する完成図のうちの縦断面図</p> <p>4) 工事施設帳票 当該工事に関連する道路施設の諸元等を取りまとめた帳票</p> </div> <p>【解説】</p> <p>3) 完成縦断面図 完成縦断面図は、本要領で定義する完成図のうちの縦断面図であり、工事後の維持管理段階における道路管理図や次回工事発注図等として利用される。</p> <p>9) SXF SXFは、Scadec data eXchange Formatの略称であり、ISO規格であるSTEP AP202に準拠したCADデータ交換仕様である。線や円、文字、寸法線、およびハッチングなど図形情報のみを対象とする仕様をVer.2.0（以下SXF Ver.2.0）といい、これに加え図形情報に対して属性情報を付与できる仕様をVer.3.0およびVer.3.1（以下SXF Ver.3.x）という。SXF Ver.2.0では物理ファイルが図面ファイル（.sfd/.p21）のみであるのに対し、SXF Ver.3.xでは物理ファイルが図面ファイル（.sfd/.p21）と属性ファイル（.saf, XML形式）に分かれている。ただし、SXF Ver.3.xの仕様のうち、図形情報に関する仕様はSXF Ver.2.0との下位互換性を確保している。詳細については、「SXF Ver.3.0仕様書」および「SXF Ver.3.1仕様書」（建設情報標準化委員会CADデータ交換標準小委員会）を参照のこと。</p>	<p>縦横断情報の基となる情報として完成縦断面図の納品を新たに求めるため</p> <p>SXF Ver. 3. 1が発行されたことから、SXF Ver. 3. xを対象と変更したため</p>

番号	対象箇所、趣旨	平成18年8月版	改定版（平成20年3月）	修正理由
(3)	<p>1. 共通編 3. 本要領の位置付け</p> <p>共通仕様書への記載を反映 完成縦断面図に関する記載の追加 基準類が改訂された場合の対応の追加</p>	<h3>3. 本要領の位置付け</h3> <p>本要領に関連する基準類は、以下の通りである。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①「土木工事共通仕様書」（国土交通省各地方整備局発行） ②「土木工事施工管理基準及び規格値（案）」（国土交通省各地方整備局発行） ③「工事完成図書電子納品要領（案）」（平成16年6月 国土交通省） ④「CAD製図基準（案）」（平成16年6月 国土交通省） <p>本要領は、発注者および請負者を対象とし、「土木工事共通仕様書」で定められている完成図および特記仕様書で提出が謳われている工事施設帳票の完成図書作成に 基づき、その作成方法および電子納品の方法を規定するものとして位置付ける。 なお、本要領に規定していない事項については、上記の基準類に従うものとする。</p> <p>【解説】</p> <p>本要領は、発注者および請負者を対象とし、図3に示すとおり「土木工事共通仕様書」で定められている完成図および特記仕様書で提出が謳われている工事施設帳票の完成図書作成に あたり、その範囲や作成要領、および電子納品の方法を規定するものとして位置付ける。 したがって、本要領の適用工事では、当面、完成図のうち平面図については従来作成してい る図面に代わり本要領に基づき作成した完成平面図を提出する。また、工事施設帳票につい ては、本要領に基づき作成した道路施設基本データを電子納品するものとする。 なお、本要領は「CAD製図基準（案）」などを基本として定めており、本要領に規定してい ない事項については、図3に示す関連基準に従うものとする。</p>  <p>図 2 本要領の位置づけ</p>	<h3>3. 本要領の位置付け</h3> <p>本要領に関連する基準類は、以下の通りである。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①「土木工事共通仕様書」（国土交通省各地方整備局発行） ②「土木工事施工管理基準及び規格値（案）」（国土交通省各地方整備局発行） ③「工事完成図書の電子納品要領（案）」（平成16年6月 国土交通省） ④「CAD製図基準（案）」（平成16年6月 国土交通省） <p>本要領は、発注者および請負者を対象とし、「土木工事共通仕様書」で定められている完成 図および特記仕様書で提出が謳われている工事施設帳票について、上記の関連する基準類に 基づき、その作成方法および電子納品の方法を規定するものとして位置付ける。 なお、本要領に規定していない事項については、上記の基準類に従うものとする。 また、上記の基準類が改訂された場合には最新の基準に読み替えるものとする。</p> <p>【解説】</p> <p>本要領は、発注者および請負者を対象とし、図3に示すとおり「土木工事共通仕様書」で定 められている完成図および特記仕様書で提出が謳われている工事施設帳票の完成図書作成にあ たり、その範囲や作成要領、および電子納品の方法を規定するものとして位置付ける。 したがって、本要領の適用工事では、完成図のうち平面図および縦断面図について、当面、従 来作成している図面に代わり本要領に基づき作成した完成平面図を提出する。また、工事施設 帳票については、本要領に基づき作成した道路施設基本データを電子納品するものとする。 なお、本要領は「CAD製図基準（案）」などを基本として定めており、本要領に規定してい ない事項については、図3に示す関連基準に従うものとする。 また、上記の基準類が改訂された場合には最新の基準に読み替えるものとする。</p>  <p>図 3 本要領の位置づけ</p> <p>「工事完成図書の電子納品要領（案）」および「CAD製図基準（案）」については、国土交 通省のサイト(http://www.cals-ed.jp)より入手可能である。 その他参考となる基準類（完成図の作成で直接的に利用しないが、参考となるもの）の名称 については、本要領の解説に随時記載する。</p>	<p>基準類が改訂された場合の対応を記載していなかったため</p> <p>縦横断情報の基となる情報として完成縦断面図の納品 を新たに求めるため</p> <p>土木工事共通仕様書に本要領が明記されたことによ る表現の見直し</p>

番号	対象箇所、趣旨	平成18年8月版	改定版（平成20年3月）	修正理由																																																																																																																																																																																																				
(4)	<p>1. 共通編 5. 適用工事</p> <p>簡易な道路修繕工事（例：切削オーバーレイ等）の「（例：切削オーバーレイ等）」を削除</p> <p>縦断面図の追加による記載の追加 適用工事に共同溝、電線共同溝、情報ボックス工事を追加 管内全域で行う舗装修繕のような簡易な道路修繕工事に関する補足の追加</p>	<p>5. 適用工事</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>本要領では、舗装工事および道路修繕工事（管内全域で行う簡易な道路修繕工事等を除く）における平面図、並びに全工事（道路施設に変更を加えない道路維持工事を除く）における工事施設帳票について、電子化した完成図等による電子納品を必須とする。</p> <p>なお、これ以外の工事における完成図等については、従来どおり、受発注者間の事前協議の上で電子化の範囲等を決定し、電子納品を行うこととする。</p> </div> <p>【解説】</p> <p>土木工事共通仕様書では、完成図の電子納品に当たり、電子化の範囲等について受発注者間での事前協議の上、決定するものとしている。これに対し、本要領では完成平面図の作成による供用開始時の道路および道路施設の形状取得を趣旨とし、本線舗装を主体とする工事においては完成平面図のCADデータ作成を必須とするものとした。</p> <p>上記の趣旨に基づき、本要領を適用する工事と各工事において作成対象となる完成図および工事施設帳票の標準的な組み合わせを、新土木工事積算体系におけるレベル0事業区分およびレベル1工事区分に合わせ表1に示す。ここで、「●」を付した舗装工事および道路修繕工事の平面図については、本要領に基づいた完成平面図の作成と電子納品を必ず実施するものとする。ただし、道路修繕工事については、新土木工事積算体系におけるレベル2工種で「舗装工」を含む工事を対象とし、例えば「道路土工」、「道路付属施設工」、「法面工」および橋梁関連工種（「橋梁床版工」、「橋梁支承工」、「橋脚巻き立て工」等）のみを対象とする工事は除くものとする。また、「舗装工」を含む工事であっても、管内全域で行う舗装修繕のような道路施設に変更のない簡易な道路修繕工事（例：切削オーバーレイ等）については、平面図を作成する必要はないものとする。なお、表1では上記凡例の他、発注図書において標準的に組み込まれると思われる図面に「○」を、参考的に示されると思われる図面には「-」を付した。</p> <p>また、工事施設帳票については、除草、除雪および清掃等、道路施設に変更を加えない維持工事を除き、基本的に表1に示す全ての工事において作成するものとする。</p> <p>なお、その他の工事を含め、表1で「○」および「-」を付した図面については、従来通り、土木工事共通仕様書に準じ、受発注者間の事前協議の上で電子化の範囲等を決定するものとする。</p> <p style="text-align: center;">表1 本要領を適用する工事と完成図等の構成</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">事業区分 (レベル0)</th> <th rowspan="2">工事区分 (レベル1)</th> <th colspan="6">完成図</th> <th rowspan="2">工事施設 帳票</th> </tr> <tr> <th>平面図</th> <th>縦断面図</th> <th>横断面図</th> <th>構造図</th> <th>構造 詳細図</th> <th>用地 文量図</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">道路新設・改築</td> <td>道路改良</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>●</td> </tr> <tr> <td>舗装</td> <td>●</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>●</td> </tr> <tr> <td>橋梁上部工(鋼・コンクリート)</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>●</td> </tr> <tr> <td>橋梁下部工</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>●</td> </tr> <tr> <td>トンネル(NATM・矢板) 地下横断歩道 地下駐車場 シェッド(コンクリート・鋼製)</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>●</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">共同溝・電線共同溝</td> <td>共同溝</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>●</td> </tr> <tr> <td>電線共同溝 情報ボックス</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>●^{※1}</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">道路維持修繕・雪害</td> <td>道路維持</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>●^{※1}</td> </tr> <tr> <td>道路修繕</td> <td>●^{※2}</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>●</td> </tr> <tr> <td>雪害</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>●</td> </tr> </tbody> </table> <p>(凡例) ●：本要領に基づく完成図等の作成、電子納品が必須 ○：土木工事共通仕様書に準じ受発注者間と事前協議の上で電子化の範囲等を決定（発注図書において標準的と思われる図面） -：土木工事共通仕様書に準じ受発注者間と事前協議の上で電子化の範囲等を決定（発注図書において参考的と思われる図面）</p> <p>(注意) ※1：除草、除雪および清掃等、道路施設に変更を加えない道路維持工事については工事施設帳票を作成する必要はない。 ※2：新土木工事積算体系のレベル2工種で「舗装工」を含まない道路修繕工事については平面図を作成する必要はない。また、「舗装工」を含む工事であっても、管内全域で行う簡易な道路修繕工事については平面図を作成する必要はない。</p>	事業区分 (レベル0)	工事区分 (レベル1)	完成図						工事施設 帳票	平面図	縦断面図	横断面図	構造図	構造 詳細図	用地 文量図	道路新設・改築	道路改良	○	○	○	○	○	○	●	舗装	●	○	○	○	○	-	●	橋梁上部工(鋼・コンクリート)	○	-	-	○	○	-	●	橋梁下部工	-	-	-	○	○	○	●	トンネル(NATM・矢板) 地下横断歩道 地下駐車場 シェッド(コンクリート・鋼製)	○	-	-	○	○	○	●	共同溝・電線共同溝	共同溝	○	-	-	○	○	○	●	電線共同溝 情報ボックス	-	-	-	-	-	-	● ^{※1}	道路維持修繕・雪害	道路維持	-	-	-	-	-	-	● ^{※1}	道路修繕	● ^{※2}	○	○	○	○	-	●	雪害	○	-	-	○	○	-	●	<p>5. 適用工事</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>本要領では、舗装工事および道路修繕工事（管内全域で行う簡易な道路修繕工事等を除く）における平面図、縦断面図、並びに全工事（道路施設に変更を加えない道路維持工事を除く）における工事施設帳票について、電子化した完成図等による電子納品を必須とする。</p> <p>なお、これ以外の工事における完成図等については、従来どおり、受発注者間の事前協議の上で電子化の範囲等を決定し、電子納品を行うこととする。</p> </div> <p>【解説】</p> <p>土木工事共通仕様書では、完成図の電子納品に当たり、電子化の範囲等について受発注者間での事前協議の上、決定するものとしている。これに対し、本要領では完成平面図および完成縦断面図の作成による供用開始時の道路および道路施設の形状取得を趣旨とし、本線舗装を主体とする工事においては完成平面図および完成縦断面図のCADデータ作成を必須とするものとした。</p> <p>上記の趣旨に基づき、本要領を適用する工事と各工事において作成対象となる完成図および工事施設帳票の標準的な組み合わせを、新土木工事積算体系におけるレベル0事業区分およびレベル1工事区分に合わせ表1に示す。ここで、「●」を付した舗装工事、共同溝・電線共同溝・情報ボックス工事および道路修繕工事の平面図・縦断面図については、本要領に基づいた完成平面図および完成縦断面図の作成と電子納品を必ず実施するものとする。ただし、共同溝・電線共同溝・情報ボックス工事および道路修繕工事については、新土木工事積算体系におけるレベル2工種で「舗装工」を含む工事を対象とし、例えば「道路土工」、「道路付属施設工」、「法面工」および橋梁関連工種（「橋梁床版工」、「橋梁支承工」、「橋脚巻き立て工」等）のみを対象とする工事は除くものとする。また、レベル2工種で「舗装工」を含む工事であっても、管内全域で行う舗装修繕のような簡易な道路修繕工事（小規模な欠損部補修作業等）については、平面図を作成する必要はないものとする。なお、表1では上記凡例の他、発注図書において標準的に組み込まれると思われる図面に「○」を、参考的に示されると思われる図面には「-」を付した。</p> <p>また、工事施設帳票については、除草、除雪および清掃等、道路施設に変更を加えない維持工事を除き、基本的に表1に示す全ての工事において作成するものとする。</p> <p>なお、その他の工事を含め、表1で「○」および「-」を付した図面については、従来通り、土木工事共通仕様書に準じ、受発注者間の事前協議の上で電子化の範囲等を決定するものとする。</p> <p style="text-align: center;">表1 本要領を適用する工事と完成図等の構成</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">事業区分 (レベル0)</th> <th rowspan="2">工事区分 (レベル1)</th> <th colspan="6">完成図</th> <th rowspan="2">工事施設 帳票</th> </tr> <tr> <th>平面図</th> <th>縦断面図</th> <th>横断面図</th> <th>構造図</th> <th>構造 詳細図</th> <th>用地 文量図</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">道路新設・改築</td> <td>道路改良</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>●</td> </tr> <tr> <td>舗装</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>●</td> </tr> <tr> <td>橋梁上部工(鋼・コンクリート)</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>●</td> </tr> <tr> <td>橋梁下部工</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>●</td> </tr> <tr> <td>トンネル(NATM・矢板) 地下横断歩道 地下駐車場 シェッド(コンクリート・鋼製)</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>●</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">共同溝・電線共同溝</td> <td>共同溝</td> <td>●^{※1}</td> <td>●^{※1}</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>●</td> </tr> <tr> <td>電線共同溝 情報ボックス</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>●^{※2}</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">道路維持修繕・雪害</td> <td>道路維持</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>●^{※2}</td> </tr> <tr> <td>道路修繕</td> <td>●^{※3}</td> <td>●^{※3}</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>●</td> </tr> <tr> <td>雪害</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>●</td> </tr> </tbody> </table> <p>(凡例) ●：本要領に基づく完成図等の作成、電子納品が必須 ○：土木工事共通仕様書に準じ受発注者間と事前協議の上で電子化の範囲等を決定（発注図書において標準的と思われる図面） -：土木工事共通仕様書に準じ受発注者間と事前協議の上で電子化の範囲等を決定（発注図書において参考的と思われる図面）</p> <p>(注意) ※1：新土木工事積算体系のレベル2工種で「舗装工」を含まない共同溝、電線共同溝、情報ボックス工事については、平面図および縦断面図を作成する必要はない。また、「舗装工」を含む工事であっても、仮復旧および道路の一部舗装のみを行う工事については平面図および縦断面図を作成する必要はない。 ※2：除草、除雪および清掃等、道路施設に変更を加えない道路維持工事については工事施設帳票を作成する必要はない。 ※3：新土木工事積算体系のレベル2工種で「舗装工」を含まない道路修繕工事については平面図および縦断面図を作成する必要はない。また、「舗装工」を含む工事であっても、管内全域で行う簡易な道路修繕工事（小規模な欠損部補修作業等）については平面図および縦断面図を作成する必要はない。</p>	事業区分 (レベル0)	工事区分 (レベル1)	完成図						工事施設 帳票	平面図	縦断面図	横断面図	構造図	構造 詳細図	用地 文量図	道路新設・改築	道路改良	○	○	○	○	○	○	●	舗装	●	●	○	○	○	-	●	橋梁上部工(鋼・コンクリート)	○	-	-	○	○	-	●	橋梁下部工	-	-	-	○	○	○	●	トンネル(NATM・矢板) 地下横断歩道 地下駐車場 シェッド(コンクリート・鋼製)	○	-	-	○	○	○	●	共同溝・電線共同溝	共同溝	● ^{※1}	● ^{※1}	-	○	○	○	●	電線共同溝 情報ボックス	-	-	-	-	-	-	● ^{※2}	道路維持修繕・雪害	道路維持	-	-	-	-	-	-	● ^{※2}	道路修繕	● ^{※3}	● ^{※3}	○	○	○	-	●	雪害	○	-	-	○	○	-	●	<p>適用工事の明確化や縦断面図の追加による修正。</p> <p>共同溝、電線共同溝、情報ボックス工事については、舗装工を含むものが多いため</p> <p>管内全域で行う舗装修繕のような簡易な道路修繕工事の内容を分かりやすくするため</p>
事業区分 (レベル0)	工事区分 (レベル1)	完成図						工事施設 帳票																																																																																																																																																																																																
		平面図	縦断面図	横断面図	構造図	構造 詳細図	用地 文量図																																																																																																																																																																																																	
道路新設・改築	道路改良	○	○	○	○	○	○	●																																																																																																																																																																																																
	舗装	●	○	○	○	○	-	●																																																																																																																																																																																																
	橋梁上部工(鋼・コンクリート)	○	-	-	○	○	-	●																																																																																																																																																																																																
	橋梁下部工	-	-	-	○	○	○	●																																																																																																																																																																																																
	トンネル(NATM・矢板) 地下横断歩道 地下駐車場 シェッド(コンクリート・鋼製)	○	-	-	○	○	○	●																																																																																																																																																																																																
共同溝・電線共同溝	共同溝	○	-	-	○	○	○	●																																																																																																																																																																																																
	電線共同溝 情報ボックス	-	-	-	-	-	-	● ^{※1}																																																																																																																																																																																																
道路維持修繕・雪害	道路維持	-	-	-	-	-	-	● ^{※1}																																																																																																																																																																																																
	道路修繕	● ^{※2}	○	○	○	○	-	●																																																																																																																																																																																																
	雪害	○	-	-	○	○	-	●																																																																																																																																																																																																
事業区分 (レベル0)	工事区分 (レベル1)	完成図						工事施設 帳票																																																																																																																																																																																																
		平面図	縦断面図	横断面図	構造図	構造 詳細図	用地 文量図																																																																																																																																																																																																	
道路新設・改築	道路改良	○	○	○	○	○	○	●																																																																																																																																																																																																
	舗装	●	●	○	○	○	-	●																																																																																																																																																																																																
	橋梁上部工(鋼・コンクリート)	○	-	-	○	○	-	●																																																																																																																																																																																																
	橋梁下部工	-	-	-	○	○	○	●																																																																																																																																																																																																
	トンネル(NATM・矢板) 地下横断歩道 地下駐車場 シェッド(コンクリート・鋼製)	○	-	-	○	○	○	●																																																																																																																																																																																																
共同溝・電線共同溝	共同溝	● ^{※1}	● ^{※1}	-	○	○	○	●																																																																																																																																																																																																
	電線共同溝 情報ボックス	-	-	-	-	-	-	● ^{※2}																																																																																																																																																																																																
道路維持修繕・雪害	道路維持	-	-	-	-	-	-	● ^{※2}																																																																																																																																																																																																
	道路修繕	● ^{※3}	● ^{※3}	○	○	○	-	●																																																																																																																																																																																																
	雪害	○	-	-	○	○	-	●																																																																																																																																																																																																

番号	対象箇所、趣旨	平成18年8月版	改定版（平成20年3月）	修正理由
	<p>II. 作成編 1. 完成平面図 1-4 距離標</p> <p>工事区間内の距離標が2点に満たない場合の説明(図)の追加</p>	<p>1-4. 距離標</p> <div data-bbox="539 124 1120 199" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>完成平面図には原則として工事区間内にあるすべての距離標を記載するものとする。なお、工事区間内の距離標が2点に満たない場合は、工事区間外にある直近の距離標を記載する。ただし、新設道路工事で距離標が未整備の場合は、測点を代用することができる。</p> </div> <p>【解説】</p> <p>完成平面図の位置と方位を明らかにすることを目的として、図6に示すように供用後の位置を示す距離標を下記の要領で必ず2点以上となるよう記載する。なお、別途、平成18年度より全国直轄国道における1km毎の地点標を対象に4級基準点相当の測量が予定されており、当該距離標については、これらの成果を転記するものとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 工事区間内にある距離標はすべて完成平面図に記載するものとし、工事区間内の距離標が2点に満たない場合は、工事区間外にある直近の距離標を記載し2点を確保する。 ・ 道路修繕工事で距離標を移設した場合は、移動後の距離標を完成平面図に記載する。 ・ 新設道路工事で距離標が未整備の場合は、測点を代用して記載することができる。 <p>なお、距離標の移設に際しては、「一級国道地点標の設置について」および「地点標設置指針・同解説(案)の送付について」に準拠する。</p> <p>また、電子納品の実施にあたっては、「III. 電子納品編 1-2. 10) 距離標の取得」に従うものとする。</p>	<p>1-4. 距離標</p> <div data-bbox="1133 124 1713 199" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>完成平面図には原則として工事区間内にあるすべての距離標を記載するものとする。なお、工事区間内の距離標が2点に満たない場合は、工事区間外にある直近の距離標を記載する。ただし、新設道路工事で距離標が未整備の場合は、測点を代用することができる。</p> </div> <p>【解説】</p> <p>完成平面図の位置と方位を明らかにすることを目的として、図6に示すように供用後の位置を示す距離標を下記の要領で必ず2点以上となるよう記載する。なお、別途、平成18年度より全国直轄国道における1km毎の地点標を対象に4級基準点相当の測量が予定されており、当該距離標については、これらの成果を転記するものとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 工事区間内にある距離標はすべて完成平面図に記載するものとし、工事区間内の距離標が2点に満たない場合は、図6に示すように工事区間外にある直近の距離標を記載し2点を確保する。 ・ 道路修繕工事で距離標を移設した場合は、移動後の距離標を完成平面図に記載する。 ・ 新設道路工事で距離標が未整備の場合は、測点情報を用いて距離標を記載することができる。 <div data-bbox="1205 454 1729 619" style="text-align: center;"> </div> <p>図6 工事区間内の距離標が2点に満たない場合の対応例</p> <p>なお、距離標の移設に際しては、「一級国道地点標の設置について」および「地点標設置指針・同解説(案)の送付について」に準拠する。</p> <p>また、電子納品の実施にあたっては、「III. 電子納品編 1-2. 10) 距離標の取得」に従うものとする。</p>	<p>工事区間内の距離標が2点に満たない場合の対応について誤解を受ける可能性があるため</p>

番号	対象箇所、趣旨	平成18年8月版	改定版（平成20年3月）	修正理由
(5)	II. 作成編 1. 完成平面図 1-6測点 測点地物の追加	— — —	1-6 測点 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>完成平面図には道路中心線上に測点を記載する。測点間隔は、監督職員より貸与される縦断図の測点間隔に合わせる。ただし、監督職員より縦断図が貸与されない場合、測点間隔は 20m（IC 区間は 10m）を標準とする。</p> </div> <p>【解説】 完成平面図に道路の高さ、勾配情報等を付すことを目的として、道路中心線上に測点を記載する。測点間隔は、監督職員より貸与される縦断図の測点間隔と合わせる。一方、監督職員より縦断図が貸与されない場合、測点間隔は 20m（IC 区間は 10m）を標準とし、測点番号は 100m 程度毎に記載する。</p> <p>また、電子納品の実施にあたっては、「III. 電子納品編 1-2. 11) 測点の取得」に従うものとする。</p>	縦横断情報を取得することを目的に測点地物を新たに定義したため
(6)	II. 作成編 2. 完成縦断図 完成縦断図に関する記載の追加	— — —	2. 完成縦断図 2-1. 作成範囲 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>完成縦断図の作成範囲は、延長方向は工事起点から工事終点までとし、道路中心線の縦断構造を記載する。</p> </div> <p>【解説】 道路工事完成平面図の作成範囲は、延長方向は工事起点から工事終点までとし、完成平面図の作成範囲と合わせる。</p> 2-2. 作成形状 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>完成縦断図に示す形状は、設計変更後の最終の発注図を用いることを基本に、見え消しとした部分はすべて消去したものとす。ただし、設計変更の対象とならなくても、監督職員の承諾を得て施工した箇所については、その承諾図の形状を反映するものとする。</p> </div> <p>【解説】 完成縦断図は、設計変更で更新された最終的な発注図を用いることを基本に、当初発注図の見え消しとした部分はすべて消去するものとする。また、出来形測量結果のいわゆる「朱書き」は、別途出来形管理図に示し、完成縦断図には表現しないこととする。ただし、設計変更の対象とならなくても、監督職員の承諾を得て施工した箇所については、その承諾図の形状を反映するものとする。</p>	縦横断情報の基となる情報として完成縦断図の納品を新たに求めるため

番号	対象箇所、趣旨	平成18年8月版	改定版（平成20年3月）	修正理由
(7)	<p>Ⅲ. 電子納品編 1. 完成平面図 1-2. データ作成</p> <p>SXFの新たなバージョンであるSXF Ver. 3.1への対応 測点地物の追加 今後予定されている「CAD製図基準（案）」の改訂を考慮した構成の見直し</p>	<p>Ⅲ. 電子納品編</p> <p>1. 完成平面図</p> <p>1-2. データ作成</p> <p>1) ファイル形式</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>完成平面図のファイル形式は、図形データに任意の属性データを付与することができるSXF Ver.3.0の仕様に準拠するものとし、図形データ等を格納するファイルはP21形式、属性データを格納するファイルはSAF形式とする。ただし、当面（SXF Ver.3.0対応の市販CADが普及するまでの間）は、暫定的な対応として、SXF Ver.2.0の仕様に準拠したP21形式で代用することができる。</p> </div> <p>【解説】</p> <p>完成平面図のファイル形式は、維持管理段階でGISに活用することを踏まえ、図形データに任意の属性データを付与することができるSXF Ver.3.0の仕様を採用する。</p> <p>SXF Ver.3.0仕様における物理ファイル形式は、図形データ等を格納するP21形式（拡張子.p21）と、図形に対応した属性データを格納するSAF形式（拡張子.saf）の2つにより構成される。</p> <div style="margin-left: 20px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 図形 SXF データ：P21 形式（拡張子 .p21） ・ 属性 XML データ：SAF 形式（拡張子 .saf） </div> <div style="margin-left: 100px;">} SXF Ver.3.0 データ</div> <p>これら2つのファイルは、SXF Ver.3.0の属性付加機構を備えた「道路基盤データ交換属性セット（案）」に対応するCADソフトウェア上で作図および属性入力を行うことにより、自動的に作成される。ただし、2つのファイルは同一フォルダ内に格納されなければ正しく利用できないため、電子納品時には必ず同一フォルダ内（DRAWINGFフォルダ内）に格納すること。なお、現行のCAD製図基準（案）では、SXF Ver.3.0の適用に関する規定はないため、本要領で独自に規定している。</p>	<p>Ⅲ. 電子納品編</p> <p>1. 完成平面図</p> <p>1-2. データ作成</p> <p>1) ファイル形式</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>完成平面図のファイル形式は、図形データに任意の属性データを付与することができるSXF Ver.3.xの仕様に準拠するものとし、図形データ等を格納するファイルはP21形式、属性データを格納するファイルはSAF形式とする。</p> </div> <p>【解説】</p> <p>完成平面図のファイル形式は、維持管理段階でGISに活用することを踏まえ、図形データに任意の属性データを付与することができるSXF Ver.3.xの仕様を採用する。</p> <p>SXF Ver.3.x仕様における物理ファイル形式は、図形データ等を格納するP21形式（拡張子.p21）と、図形に対応した属性データを格納するSAF形式（拡張子.saf）の2つにより構成される。</p> <div style="margin-left: 20px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 図形 SXF データ：P21 形式（拡張子 .p21） ・ 属性 XML データ：SAF 形式（拡張子 .saf） </div> <div style="margin-left: 100px;">} SXF Ver.3.x データ</div> <p>これら2つのファイルは、SXF Ver.3.xの属性付加機構を備えた「道路基盤地図情報交換属性セット（案）」に対応するCADソフトウェア上で作図および属性入力を行うことにより、自動的に作成される。ただし、2つのファイルは同一フォルダ内に格納されなければ正しく利用できないため、電子納品時には必ず同一フォルダ内（DRAWINGFフォルダ内）に格納すること。</p> <p>(補足)</p> <p>現行のCAD製図基準（案）では、SXF Ver.3.xの適用に関する規定はないため、本要領で独自に規定している。</p>	<p>SXF ver. 3. xを対象としたため また、SXF ver. 3. xでの完成平面図の作成を促進させるため、規定部分（囲み部分）からSXF Ver. 2. 0による暫定的な対応に関する記載は削除（解説及び巻末資料3には暫定措置は掲載）</p> <p>「CAD製図基準（案）」の改訂により影響を受ける部分については、補足扱いとして整理した。</p>

番号	対象箇所、趣旨	平成18年8月版	改定版（平成20年3月）	修正理由																																																																																										
		<div data-bbox="607 89 1106 284" data-label="Diagram"> </div> <div data-bbox="667 300 972 320" data-label="Caption"> <p>図 10 SXF Ver.3.0 によるデータ作成（イメージ）</p> </div> <div data-bbox="555 336 1106 443" data-label="Text"> <p>また、SXF Ver.3.0 対応の市販 CAD が普及するまでの間、SXF Ver.3.0 のデータ作成が困難であるため、暫定的に SXF Ver.2.0 でデータ作成することも可とし、その場合は表 3 に従い巻末資料 2 を参照する。特に留意すべき相違点は、距離標以外の地物については属性入力を不要とし、距離標のみ属性情報を CSV ファイルにより作成する点である。また、CAD データ上の距離標の図形に対しては、CSV ファイルと対応付けるための文字コードの配置が必要となる。</p> </div> <div data-bbox="629 483 1003 504" data-label="Caption"> <p>表 3 SXF Ver.2.0 で作成する場合の巻末資料 2 の参照箇所</p> </div> <div data-bbox="622 504 1014 978" data-label="Table"> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目次構成 (本編 Ⅲ. 電子納品編 1. 3)</th> <th>巻末資料 2 を参照する箇所 (記載項目)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1. 完成平面図</td><td>—</td></tr> <tr><td>1-1. 趣旨</td><td>—</td></tr> <tr><td>1-2. データ作成</td><td>1.、2.</td></tr> <tr><td>1) ファイル形式</td><td>—</td></tr> <tr><td>2) ファイル単位</td><td>—</td></tr> <tr><td>3) 部分図の利用</td><td>—</td></tr> <tr><td>4) 座標設定</td><td>—</td></tr> <tr><td>5) 取得対象項目</td><td>—</td></tr> <tr><td>6) 図形データ作成</td><td>2-1</td></tr> <tr><td>7) レイヤ分類</td><td>2-2</td></tr> <tr><td>8) 図形データの単位</td><td>—</td></tr> <tr><td>9) 属性入力</td><td>2-3</td></tr> <tr><td>10) 距離標の取得</td><td>1.、2-1～2-3</td></tr> <tr><td>11) 地形情報</td><td>2-4</td></tr> <tr><td>12) 図面様式</td><td>—</td></tr> <tr><td>1-3. データ貸与と請負者の作業</td><td>—</td></tr> <tr><td>3. 電子成果品としての整理方法</td><td>—</td></tr> <tr><td>3-1. 成果品項目</td><td>—</td></tr> <tr><td>3-2. 工事管理ファイル</td><td>—</td></tr> <tr><td>3-4. 完成平面図ファイル命名規則</td><td>3.</td></tr> <tr><td>3-6. 格納フォルダ</td><td>4.</td></tr> </tbody> </table> </div>	目次構成 (本編 Ⅲ. 電子納品編 1. 3)	巻末資料 2 を参照する箇所 (記載項目)	1. 完成平面図	—	1-1. 趣旨	—	1-2. データ作成	1.、2.	1) ファイル形式	—	2) ファイル単位	—	3) 部分図の利用	—	4) 座標設定	—	5) 取得対象項目	—	6) 図形データ作成	2-1	7) レイヤ分類	2-2	8) 図形データの単位	—	9) 属性入力	2-3	10) 距離標の取得	1.、2-1～2-3	11) 地形情報	2-4	12) 図面様式	—	1-3. データ貸与と請負者の作業	—	3. 電子成果品としての整理方法	—	3-1. 成果品項目	—	3-2. 工事管理ファイル	—	3-4. 完成平面図ファイル命名規則	3.	3-6. 格納フォルダ	4.	<div data-bbox="1205 89 1704 284" data-label="Diagram"> </div> <div data-bbox="1265 300 1570 320" data-label="Caption"> <p>図 10 SXF Ver.3.x によるデータ作成（イメージ）</p> </div> <div data-bbox="1160 336 1711 443" data-label="Text"> <p>また、SXF Ver.3.x 対応の市販 CAD が普及するまでの間、暫定的に SXF Ver.2.0 でデータ作成することも可とし、その場合は表 3 に従い巻末資料 2 を参照する。特に留意すべき相違点は、属性入力に関して、距離標および測点のみがその対象で、CSV ファイルにより作成するが、他の地物の属性は入力不要である。また、CAD データ上の距離標と測点の図形に関して、CSV ファイルに対応する文字コードを図上に配置する必要がある。</p> </div> <div data-bbox="1249 483 1624 504" data-label="Caption"> <p>表 3 SXF Ver.2.0 で作成する場合の巻末資料 2 の参照箇所</p> </div> <div data-bbox="1234 504 1626 999" data-label="Table"> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目次構成 (本編 Ⅲ. 電子納品編 1. 3)</th> <th>巻末資料 2 を参照する箇所 (記載項目)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1. 完成平面図</td><td>—</td></tr> <tr><td>1-1. 趣旨</td><td>—</td></tr> <tr><td>1-2. データ作成</td><td>1.、2.</td></tr> <tr><td>1) ファイル形式</td><td>—</td></tr> <tr><td>2) ファイル単位</td><td>—</td></tr> <tr><td>3) 部分図の利用</td><td>—</td></tr> <tr><td>4) 座標設定</td><td>—</td></tr> <tr><td>5) 取得対象項目</td><td>—</td></tr> <tr><td>6) 図形データ作成</td><td>2-1</td></tr> <tr><td>7) レイヤ分類</td><td>2-2</td></tr> <tr><td>8) 図形データの単位</td><td>—</td></tr> <tr><td>9) 属性入力</td><td>2-3</td></tr> <tr><td>10) 距離標の取得</td><td>1.、2-1～2-3</td></tr> <tr><td>11) 測点の取得</td><td>1.、2-1～2-3</td></tr> <tr><td>12) 地形情報</td><td>2-4</td></tr> <tr><td>13) 図面様式</td><td>—</td></tr> <tr><td>1-3. データ貸与と請負者の作業</td><td>—</td></tr> <tr><td>4. 電子成果品としての整理方法</td><td>—</td></tr> <tr><td>4-1. 成果品項目</td><td>—</td></tr> <tr><td>4-2. 工事管理ファイル</td><td>—</td></tr> <tr><td>4-4. 完成平面図ファイル命名規則</td><td>3.</td></tr> <tr><td>4-7. 格納フォルダ</td><td>4.</td></tr> </tbody> </table> </div>	目次構成 (本編 Ⅲ. 電子納品編 1. 3)	巻末資料 2 を参照する箇所 (記載項目)	1. 完成平面図	—	1-1. 趣旨	—	1-2. データ作成	1.、2.	1) ファイル形式	—	2) ファイル単位	—	3) 部分図の利用	—	4) 座標設定	—	5) 取得対象項目	—	6) 図形データ作成	2-1	7) レイヤ分類	2-2	8) 図形データの単位	—	9) 属性入力	2-3	10) 距離標の取得	1.、2-1～2-3	11) 測点の取得	1.、2-1～2-3	12) 地形情報	2-4	13) 図面様式	—	1-3. データ貸与と請負者の作業	—	4. 電子成果品としての整理方法	—	4-1. 成果品項目	—	4-2. 工事管理ファイル	—	4-4. 完成平面図ファイル命名規則	3.	4-7. 格納フォルダ	4.	<div data-bbox="1740 312 2114 349" data-label="Text"> <p>縦横断情報を取得することを目的に測点地物を新たに定義したため</p> </div>
目次構成 (本編 Ⅲ. 電子納品編 1. 3)	巻末資料 2 を参照する箇所 (記載項目)																																																																																													
1. 完成平面図	—																																																																																													
1-1. 趣旨	—																																																																																													
1-2. データ作成	1.、2.																																																																																													
1) ファイル形式	—																																																																																													
2) ファイル単位	—																																																																																													
3) 部分図の利用	—																																																																																													
4) 座標設定	—																																																																																													
5) 取得対象項目	—																																																																																													
6) 図形データ作成	2-1																																																																																													
7) レイヤ分類	2-2																																																																																													
8) 図形データの単位	—																																																																																													
9) 属性入力	2-3																																																																																													
10) 距離標の取得	1.、2-1～2-3																																																																																													
11) 地形情報	2-4																																																																																													
12) 図面様式	—																																																																																													
1-3. データ貸与と請負者の作業	—																																																																																													
3. 電子成果品としての整理方法	—																																																																																													
3-1. 成果品項目	—																																																																																													
3-2. 工事管理ファイル	—																																																																																													
3-4. 完成平面図ファイル命名規則	3.																																																																																													
3-6. 格納フォルダ	4.																																																																																													
目次構成 (本編 Ⅲ. 電子納品編 1. 3)	巻末資料 2 を参照する箇所 (記載項目)																																																																																													
1. 完成平面図	—																																																																																													
1-1. 趣旨	—																																																																																													
1-2. データ作成	1.、2.																																																																																													
1) ファイル形式	—																																																																																													
2) ファイル単位	—																																																																																													
3) 部分図の利用	—																																																																																													
4) 座標設定	—																																																																																													
5) 取得対象項目	—																																																																																													
6) 図形データ作成	2-1																																																																																													
7) レイヤ分類	2-2																																																																																													
8) 図形データの単位	—																																																																																													
9) 属性入力	2-3																																																																																													
10) 距離標の取得	1.、2-1～2-3																																																																																													
11) 測点の取得	1.、2-1～2-3																																																																																													
12) 地形情報	2-4																																																																																													
13) 図面様式	—																																																																																													
1-3. データ貸与と請負者の作業	—																																																																																													
4. 電子成果品としての整理方法	—																																																																																													
4-1. 成果品項目	—																																																																																													
4-2. 工事管理ファイル	—																																																																																													
4-4. 完成平面図ファイル命名規則	3.																																																																																													
4-7. 格納フォルダ	4.																																																																																													

番号	対象箇所、趣旨	平成18年8月版	改定版（平成20年3月）	修正理由																																																																																																																																																																																																																																																																								
(8)	Ⅲ. 電子納品編 1. 完成平面図 作成 1-2. データ作成	<p>5) 取得対象項目</p> <p>完成平面図は、表 4 に示す 29 種類の地物項目を取得対象とし、請負工事の施工対象に関わらず、施工工区の道路区域内における全ての地物項目を取得するものとする。</p> <p>ただし、表 5 に示すように、本要領で定める形式で既設の地物が既に作図された平面図を発注図として貸与される場合には、施工対象の地物項目のみを更新し、完成平面図を作成するものとする。</p> <p>また、各地物項目の取得にあたっては、「6」図形データ作成」の作図ルールに従うものとし、作成したデータについては、「7」レイヤ分類」に規定するレイヤへ格納するものとする。特に、「道路面地物」に分類される 9 種類の面データについては、隣接する面データの境界線が一致するよう留意する。なお、距離標の取得については、「10」距離標の取得」に従うものとする。</p> <p>表 4 取得対象とする地物項目</p> <table border="1" data-bbox="678 347 974 791"> <thead> <tr> <th rowspan="2">図形名称</th> <th colspan="3">図形要素</th> </tr> <tr> <th>面</th> <th>線</th> <th>点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>道路中心線</td><td></td><td>●</td><td></td></tr> <tr><td>距離標</td><td></td><td></td><td>●</td></tr> <tr><td>管理区域界</td><td></td><td>●</td><td></td></tr> <tr><td>● 車道部</td><td>●</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>● 車道交差部</td><td>●</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>● 踏切道</td><td>●</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>● 軌道敷</td><td>●</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>● 島</td><td>●</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>● 路面電車停留所</td><td>●</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>● 歩道部</td><td>●</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>● 自転車駐車場</td><td>●</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>● 自動車駐車場</td><td>●</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>● 植栽</td><td>●</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>● 区面線</td><td></td><td>●</td><td></td></tr> <tr><td>● 停止線</td><td></td><td>●</td><td></td></tr> <tr><td>● 横断歩道</td><td>●</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>● 横断歩道橋</td><td>●</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>● 地下横断歩道</td><td>●</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>● 建築物</td><td>●</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>● 橋脚</td><td>●</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>● 盛土法面</td><td>●</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>● 切土法面</td><td>●</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>● 斜面対策工</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td></tr> <tr><td>● 擁壁</td><td>●</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>● マックアップ</td><td>●</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>● シェド</td><td>●</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>● フェード</td><td>●</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>● 橋梁</td><td>●</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>● トンネル</td><td>●</td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table> <p>表 5 発注図の形式による取得対象</p> <table border="1" data-bbox="591 818 1061 908"> <thead> <tr> <th></th> <th>施工対象の地物</th> <th>既設の地物</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>本要領で整備されていない発注図の場合 (発注図が電子化されていない場合も含む)</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>本要領で整備された発注図の場合</td> <td>○</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>凡例：○：取得する、—：取得しない</p> <p>【解説】</p> <p>本要領で取得対象とする地物項目は、道路管理者がサービスを実現する上で必要となる共用性の高い情報として「道路基盤データ製品仕様書（案）」（国土交通省）が定める 29 地物とする。表 4 に本要領における図形名称とその図形要素を示す。</p> <p>発注図が電子化されていない、もしくは本要領に準じて整備されたものではないなど、完成平面図を新規に作成する必要がある場合は、施工工区の道路区域内において、表 4 に示す地物項目を全て取得する。また、発注図として貸与された図面が、本要領に準じて整備されたものであった場合、表 4 を参考に、当該工事における取得対象地物を確認の上、変更が生じた地物についてのみ修正を行う。加えて、表 4 で対象とする地物に変更がない場合は、発注図の平面図をそのまま完成平面図として提出することができる。</p> <p>なお、工区が重複する工事が発生する場合や、隣接工事が存在する場合には、特記仕様書等に示す作成範囲に基づくものとする。</p> <p>次に、各地物の取得にあたっては、本節「6」図形データ作成」、および「10」距離標の取得」に規定する各図形要素の作図ルールに従うものとする。特に、「道路面地物」に分類される 9 種類の面データについては、組み合わせられることで道路面を一体的に構成する地物であり、隣接する面データ同士の境界線が一致する必要があるため、十分に留意する。また、作成したデータについては、同「7」レイヤ分類」に規定するレイヤへ格納するものとする。</p>	図形名称	図形要素			面	線	点	道路中心線		●		距離標			●	管理区域界		●		● 車道部	●			● 車道交差部	●			● 踏切道	●			● 軌道敷	●			● 島	●			● 路面電車停留所	●			● 歩道部	●			● 自転車駐車場	●			● 自動車駐車場	●			● 植栽	●			● 区面線		●		● 停止線		●		● 横断歩道	●			● 横断歩道橋	●			● 地下横断歩道	●			● 建築物	●			● 橋脚	●			● 盛土法面	●			● 切土法面	●			● 斜面対策工	●	●	●	● 擁壁	●			● マックアップ	●			● シェド	●			● フェード	●			● 橋梁	●			● トンネル	●				施工対象の地物	既設の地物	本要領で整備されていない発注図の場合 (発注図が電子化されていない場合も含む)	○	○	本要領で整備された発注図の場合	○	—	<p>5) 取得対象項目</p> <p>完成平面図は、表 4 に示す 30 種類の地物項目を取得対象とし、請負工事の施工対象に関わらず、施工工区の道路区域内における全ての地物項目を取得するものとする。</p> <p>ただし、表 5 に示すように、本要領で定める形式で既設の地物が既に作図された平面図を発注図として貸与される場合には、施工対象の地物項目のみを更新し、完成平面図を作成するものとする。</p> <p>また、各地物項目の取得にあたっては、「6」図形データ作成」の作図ルールに従うものとし、作成したデータについては、「7」レイヤ分類」に規定するレイヤへ格納するものとする。特に、「道路面地物」に分類される 9 種類の面データについては、隣接する面データの境界線が一致するよう留意する。なお、距離標の取得については、「10」距離標の取得」に従うものとする。</p> <p>表 4 取得対象とする地物項目</p> <table border="1" data-bbox="1283 347 1579 802"> <thead> <tr> <th rowspan="2">図形名称</th> <th colspan="3">図形要素</th> </tr> <tr> <th>面</th> <th>線</th> <th>点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>道路中心線</td><td></td><td>●</td><td></td></tr> <tr><td>距離標</td><td></td><td></td><td>●</td></tr> <tr><td>管理区域界</td><td></td><td>●</td><td></td></tr> <tr><td>● 車道部</td><td>●</td><td></td><td>●</td></tr> <tr><td>● 車道交差部</td><td>●</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>● 踏切道</td><td>●</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>● 軌道敷</td><td>●</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>● 島</td><td>●</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>● 路面電車停留所</td><td>●</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>● 歩道部</td><td>●</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>● 自転車駐車場</td><td>●</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>● 自動車駐車場</td><td>●</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>● 植栽</td><td>●</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>● 区面線</td><td></td><td>●</td><td></td></tr> <tr><td>● 停止線</td><td></td><td>●</td><td></td></tr> <tr><td>● 横断歩道</td><td>●</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>● 横断歩道橋</td><td>●</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>● 地下横断歩道</td><td>●</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>● 建築物</td><td>●</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>● 橋脚</td><td>●</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>● 盛土法面</td><td>●</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>● 切土法面</td><td>●</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>● 斜面対策工</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td></tr> <tr><td>● 擁壁</td><td>●</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>● マックアップ</td><td>●</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>● シェド</td><td>●</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>● フェード</td><td>●</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>● 橋梁</td><td>●</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>● トンネル</td><td>●</td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table> <p>表 5 発注図の形式による取得対象</p> <table border="1" data-bbox="1196 829 1666 919"> <thead> <tr> <th></th> <th>施工対象の地物</th> <th>既設の地物</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>本要領で整備されていない発注図の場合 (発注図が電子化されていない場合も含む)</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>本要領で整備された発注図の場合</td> <td>○</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>凡例：○：取得する、—：取得しない</p> <p>【解説】</p> <p>本要領で取得対象とする地物項目は、道路管理者がサービスを実現する上で必要となる共用性の高い情報として「道路基盤地図情報製品仕様書（案）」（国土交通省）の中で定められている 30 地物とする。表 4 に本要領における図形名称とその図形要素を示す。</p> <p>発注図が電子化されていない、もしくは本要領に準じて整備されたものではないなど、完成平面図を新規に作成する必要がある場合は、施工工区の道路区域内において、表 4 に示す地物項目を全て取得する。また、発注図として貸与された図面が、本要領に準じて整備されたものであった場合、表 4 を参考に、当該工事における取得対象地物を確認の上、変更が生じた地物についてのみ修正を行う。加えて、表 4 で対象とする地物に変更がない場合は、発注図の平面図をそのまま完成平面図として提出することができる。</p> <p>なお、工区が重複する工事が発生する場合や、隣接工事が存在する場合には、特記仕様書等に示す作成範囲に基づくものとする。</p> <p>次に、各地物の取得にあたっては、本節「6」図形データ作成」、および「10」距離標の取得」に規定する各図形要素の作図ルールに従うものとする。特に、「道路面地物」に分類される 9 種類の面データについては、組み合わせられることで道路面を一体的に構成する地物であり、隣接する面データ同士の境界線が一致する必要があるため、十分に留意する。また、作成したデータについては、同「7」レイヤ分類」に規定するレイヤへ格納するものとする。</p>	図形名称	図形要素			面	線	点	道路中心線		●		距離標			●	管理区域界		●		● 車道部	●		●	● 車道交差部	●			● 踏切道	●			● 軌道敷	●			● 島	●			● 路面電車停留所	●			● 歩道部	●			● 自転車駐車場	●			● 自動車駐車場	●			● 植栽	●			● 区面線		●		● 停止線		●		● 横断歩道	●			● 横断歩道橋	●			● 地下横断歩道	●			● 建築物	●			● 橋脚	●			● 盛土法面	●			● 切土法面	●			● 斜面対策工	●	●	●	● 擁壁	●			● マックアップ	●			● シェド	●			● フェード	●			● 橋梁	●			● トンネル	●				施工対象の地物	既設の地物	本要領で整備されていない発注図の場合 (発注図が電子化されていない場合も含む)	○	○	本要領で整備された発注図の場合	○	—	<p>縦横断情報を取得することを目的に測点地物を新たに定義したため</p>
図形名称	図形要素																																																																																																																																																																																																																																																																											
	面	線	点																																																																																																																																																																																																																																																																									
道路中心線		●																																																																																																																																																																																																																																																																										
距離標			●																																																																																																																																																																																																																																																																									
管理区域界		●																																																																																																																																																																																																																																																																										
● 車道部	●																																																																																																																																																																																																																																																																											
● 車道交差部	●																																																																																																																																																																																																																																																																											
● 踏切道	●																																																																																																																																																																																																																																																																											
● 軌道敷	●																																																																																																																																																																																																																																																																											
● 島	●																																																																																																																																																																																																																																																																											
● 路面電車停留所	●																																																																																																																																																																																																																																																																											
● 歩道部	●																																																																																																																																																																																																																																																																											
● 自転車駐車場	●																																																																																																																																																																																																																																																																											
● 自動車駐車場	●																																																																																																																																																																																																																																																																											
● 植栽	●																																																																																																																																																																																																																																																																											
● 区面線		●																																																																																																																																																																																																																																																																										
● 停止線		●																																																																																																																																																																																																																																																																										
● 横断歩道	●																																																																																																																																																																																																																																																																											
● 横断歩道橋	●																																																																																																																																																																																																																																																																											
● 地下横断歩道	●																																																																																																																																																																																																																																																																											
● 建築物	●																																																																																																																																																																																																																																																																											
● 橋脚	●																																																																																																																																																																																																																																																																											
● 盛土法面	●																																																																																																																																																																																																																																																																											
● 切土法面	●																																																																																																																																																																																																																																																																											
● 斜面対策工	●	●	●																																																																																																																																																																																																																																																																									
● 擁壁	●																																																																																																																																																																																																																																																																											
● マックアップ	●																																																																																																																																																																																																																																																																											
● シェド	●																																																																																																																																																																																																																																																																											
● フェード	●																																																																																																																																																																																																																																																																											
● 橋梁	●																																																																																																																																																																																																																																																																											
● トンネル	●																																																																																																																																																																																																																																																																											
	施工対象の地物	既設の地物																																																																																																																																																																																																																																																																										
本要領で整備されていない発注図の場合 (発注図が電子化されていない場合も含む)	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																										
本要領で整備された発注図の場合	○	—																																																																																																																																																																																																																																																																										
図形名称	図形要素																																																																																																																																																																																																																																																																											
	面	線	点																																																																																																																																																																																																																																																																									
道路中心線		●																																																																																																																																																																																																																																																																										
距離標			●																																																																																																																																																																																																																																																																									
管理区域界		●																																																																																																																																																																																																																																																																										
● 車道部	●		●																																																																																																																																																																																																																																																																									
● 車道交差部	●																																																																																																																																																																																																																																																																											
● 踏切道	●																																																																																																																																																																																																																																																																											
● 軌道敷	●																																																																																																																																																																																																																																																																											
● 島	●																																																																																																																																																																																																																																																																											
● 路面電車停留所	●																																																																																																																																																																																																																																																																											
● 歩道部	●																																																																																																																																																																																																																																																																											
● 自転車駐車場	●																																																																																																																																																																																																																																																																											
● 自動車駐車場	●																																																																																																																																																																																																																																																																											
● 植栽	●																																																																																																																																																																																																																																																																											
● 区面線		●																																																																																																																																																																																																																																																																										
● 停止線		●																																																																																																																																																																																																																																																																										
● 横断歩道	●																																																																																																																																																																																																																																																																											
● 横断歩道橋	●																																																																																																																																																																																																																																																																											
● 地下横断歩道	●																																																																																																																																																																																																																																																																											
● 建築物	●																																																																																																																																																																																																																																																																											
● 橋脚	●																																																																																																																																																																																																																																																																											
● 盛土法面	●																																																																																																																																																																																																																																																																											
● 切土法面	●																																																																																																																																																																																																																																																																											
● 斜面対策工	●	●	●																																																																																																																																																																																																																																																																									
● 擁壁	●																																																																																																																																																																																																																																																																											
● マックアップ	●																																																																																																																																																																																																																																																																											
● シェド	●																																																																																																																																																																																																																																																																											
● フェード	●																																																																																																																																																																																																																																																																											
● 橋梁	●																																																																																																																																																																																																																																																																											
● トンネル	●																																																																																																																																																																																																																																																																											
	施工対象の地物	既設の地物																																																																																																																																																																																																																																																																										
本要領で整備されていない発注図の場合 (発注図が電子化されていない場合も含む)	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																										
本要領で整備された発注図の場合	○	—																																																																																																																																																																																																																																																																										

(9) II. 電子納品編 1. 完成平面図 1-2. データ作成
測点地物の追加
今後予定されている「CAD製図基準(案)」の改訂を考慮した構成の見直し

7) レイヤ分類

本要領に従い作成した地物データは、表 8 の太枠で囲んだレイヤに格納する。また、その他のデータは「CAD 製図基準(案)」に従いその他のレイヤに格納する。

表 8 レイヤ分類一覧表

分類	図形名称	レイヤ名	図形要素	色	線	点	その 他 (文字 など)	着 色	備 考
本 要 領 で 規 定 し た 地 物 を 格 納 す る レ イ ヤ	道路中心線	C-00K		●				黄	
	道路幅	C-00K-00K2-AMPOST		●				緑	
	管理境界	C-00K-00K2-BOUNDARY		●				緑	
	管理境界線	C-00K-00K2-BOUNDARY		●	●			緑	
	車道線	C-STR-STR2-ROADWAY		●				緑	境界線を構成する地物 (境界する面データの境界形状一致が必要)
	車道交差部	C-STR-STR2-CROSSING		●				緑	
	踏切道	C-STR-STR2-RAILROADCROSS		●				緑	
	踏切道	C-STR-STR2-TRAMAREA		●				黄	
	踏切道	C-STR-STR2-ISLAND		●				黄	
	踏切電車線境界	C-STR-STR2-TRAMSTOP		●				黄	
	踏切道	C-STR-STR2-SIDEWALK		●				黄	
	自転車駐車場	C-STR-STR2-BICYCLEPARK		●				緑	
	自転車駐車場	C-STR-STR2-CARPARK		●				緑	
本 要 領 で 規 定 し た 地 物 を 格 納 す る レ イ ヤ	踏切	C-STR-STR2-PLANT		●				緑	境界線以外を構成する 地物
	皮面線	C-STR-STR2-LINE		●				白	
	停止線	C-STR-STR2-SOPLINE		●				白	(境界線データの形状 一致は必要としない)
	踏切歩道	C-STR-STR2-CROSSWALK		●				白	
	横断歩道橋	C-STR-STR2-PEDESTRIANBRIDGE		●				白	
	道路橋	C-STR-STR2-BUILDING		●				白	
	橋脚	C-STR-STR2-PIER		●				白	
	堤土法面	C-STR-STR2-BANK		●				緑	
	切土法面	C-STR-STR2-CUT		●				緑	
	斜面対策工	C-STR-STR2-SLOPE		●	●			黄	
	擁壁	C-STR-STR2-WALL		●				黄	
	土留	C-STR-STR2-SHEET		●				黄	
	トンネル	C-STR-STR2-TUNNEL		●				黄	
そ の 他 の レ イ ヤ	トンネル	C-TTL-FRAM		●				黄	図面表記用 (図形、異種線、地物図)
	区切り線、界線	C-TTL-LINE		●				黄	
	区切り線	C-TTL-LINE		●				黄	
	区切り線、界線	C-TTL-LINE		●				黄	
	区切り線	C-TTL-LINE		●				黄	
	境界線	C-B00		●				黄	
	境界線の寸法線	C-B00-H1CN		●				黄	
	境界線の寸法線	C-B00-H1CN		●				黄	
	境界線の寸法線	C-B00-H1CN		●				黄	
	境界線の寸法線	C-B00-H1CN		●				黄	
	境界線の寸法線	C-B00-CRST		●				黄	
	境界線の寸法線	C-B00-CRST		●				黄	
	境界線の寸法線	C-B00-CRST		●				黄	
境界線の寸法線	C-B00-CRST		●				黄		

【解説】

現在の「CAD 製図基準(案)」で規定されているレイヤ分類は、レイヤ単位の色や線種、画面上の表示・非表示および紙への出力・非出力の設定等、主に図面としての閲覧や出図の作業性を重視したものとなっており、格納する個々の図形データを連想しにくい名称となっている。本要領では、各地物データの作成とチェックの作業性に重点を置くものとし、地物と格納するレイヤの対応関係を明確にするため、一地物ごとにレイヤ分類を行うとともに、土木学会の「土木 CAD 製図基準」を参考に 4 階層のレイヤ命名則を採用し、格納する地物を連想可能なレイヤ名としている。なお、現在の CAD 製図基準(案)では 4 階層のレイヤ命名則を採用していないため、本要領で独自に規定している。

4階層のレイヤ命名則を採用したため、通常の電子納品のチェックプログラムを利用する際、レイヤ名称の文字数に起因するエラーが検出される。このエラー対応を含め、完成平面図の電子納品に関するチェックについては「4. チェック方法」に従うものとする。

また、「CAD 製図基準(案)」で定められていないレイヤを使用するため、図面管理ファイルの記入にあたっては「3-2. 図面管理ファイル」に従うものとする。

なお、SXF Ver.2.0 を利用する場合には、「距離標」および「ラスタ化された地図」を格納するレイヤに、属性情報と図形情報を対応付けるための「地物コード」および「ファイル名コード」をテキストとしてそれぞれ追加する必要がある(巻末資料 2 1.SXF Ver.3.0 との相違点参照)。

7) レイヤ分類

本要領に従い完成平面図に作成した地物データは、表 8 の太枠内に示すレイヤに格納する。また、その他のデータは「CAD 製図基準(案)」に従いその他のレイヤに格納する。

表 8 レイヤ分類一覧表

分類	図形名称	レイヤ名	図形要素	色	線	点	その 他 (文字 など)	着 色	備 考
本 要 領 で 規 定 し た 地 物 を 格 納 す る レ イ ヤ	道路中心線	C-00K		●				黄	
	道路幅	C-00K-00K2-AMPOST		●				緑	
	管理境界	C-00K-00K2-BOUNDARY		●				緑	
	管理境界線	C-00K-00K2-BOUNDARY		●	●			緑	
	車道線	C-STR-STR2-ROADWAY		●				緑	境界線を構成する地物 (境界する面データの境界形状一致が必要)
	車道交差部	C-STR-STR2-CROSSING		●				緑	
	踏切道	C-STR-STR2-RAILROADCROSS		●				緑	
	踏切道	C-STR-STR2-TRAMAREA		●				黄	
	踏切道	C-STR-STR2-ISLAND		●				黄	
	踏切電車線境界	C-STR-STR2-TRAMSTOP		●				黄	
	踏切道	C-STR-STR2-SIDEWALK		●				黄	
	自転車駐車場	C-STR-STR2-BICYCLEPARK		●				緑	
	自転車駐車場	C-STR-STR2-CARPARK		●				緑	
本 要 領 で 規 定 し た 地 物 を 格 納 す る レ イ ヤ	踏切	C-STR-STR2-PLANT		●				緑	境界線以外を構成する 地物
	皮面線	C-STR-STR2-LINE		●				白	
	停止線	C-STR-STR2-SOPLINE		●				白	(境界線データの形状 一致は必要としない)
	踏切歩道	C-STR-STR2-CROSSWALK		●				白	
	横断歩道橋	C-STR-STR2-PEDESTRIANBRIDGE		●				白	
	道路橋	C-STR-STR2-BUILDING		●				白	
	橋脚	C-STR-STR2-PIER		●				白	
	堤土法面	C-STR-STR2-BANK		●				緑	
	切土法面	C-STR-STR2-CUT		●				緑	
	斜面対策工	C-STR-STR2-SLOPE		●	●			黄	
	擁壁	C-STR-STR2-WALL		●				黄	
	土留	C-STR-STR2-SHEED		●				黄	
	トンネル	C-STR-STR2-TUNNEL		●				黄	
そ の 他 の レ イ ヤ	トンネル	C-TTL-FRAM		●				黄	図面表記用 (図形、異種線、地物図)
	区切り線、界線	C-TTL-LINE		●				黄	
	区切り線	C-TTL-LINE		●				黄	
	区切り線、界線	C-TTL-LINE		●				黄	
	区切り線	C-TTL-LINE		●				黄	
	境界線	C-B00		●				黄	
	境界線の寸法線	C-B00-H1CN		●				黄	
	境界線の寸法線	C-B00-H1CN		●				黄	
	境界線の寸法線	C-B00-H1CN		●				黄	
	境界線の寸法線	C-B00-H1CN		●				黄	
	境界線の寸法線	C-B00-CRST		●				黄	
	境界線の寸法線	C-B00-CRST		●				黄	
	境界線の寸法線	C-B00-CRST		●				黄	
境界線の寸法線	C-B00-CRST		●				黄		

【解説】

現在の「CAD 製図基準(案)」で規定されているレイヤ分類は、レイヤ単位の色や線種、画面上の表示・非表示および紙への出力・非出力の設定等、主に図面としての閲覧や出図の作業性を重視したものとなっており、格納する個々の図形データを連想しにくい名称となっている。本要領では、各地物データの作成とチェックの作業性に重点を置くものとし、地物と格納するレイヤの対応関係を明確にするため、一地物ごとにレイヤ分類を行うとともに、4 階層のレイヤ命名則を採用し、格納する地物を連想可能なレイヤ名としている。

また、「CAD 製図基準(案)」で定められていないレイヤを使用するため、図面管理ファイルの記入にあたっては「4-2. 図面管理ファイル」に従うものとする。

なお、SXF Ver.2.0 を利用する場合には、「距離標」、「測点」および「ラスタ化された地図」を格納するレイヤに、属性情報と図形情報を対応付けるための「地物コード」および「ファイル名コード」をテキストとしてそれぞれ追加する必要がある(巻末資料 2 1.SXF Ver.3.0 との相違点参照)。

【補足】

現在の「CAD 製図基準(案)」では 4 階層のレイヤ命名則を採用していないため、本要領で独自に規定している。4 階層のレイヤ命名則を採用したため、通常の電子納品のチェックプログラムを利用する際、レイヤ名称の文字数に起因するエラーが検出される。このエラー対応を含め、完成平面図の電子納品に関するチェックについては「5. チェック方法」に従うものとする。

縦横断情報を取得することを目的に測点地物を新たに定義したため

「CAD製図基準(案)」の改訂により影響を受ける部分については、補足扱いとして整理した。

番号	対象箇所、趣旨	平成18年8月版	改定版（平成20年3月）	修正理由														
(10)	II. 電子納品編 1. 完成平面図 1-2. データ作成 測点地物の追加	9) 属性入力 完成平面図の各地物には、表 9 に示す属性項目を入力する。属性項目のうち“設置日”については、施工対象箇所は工事完了日とし、既設箇所は既存の完成平面図に工事完了日が記載されている場合にはその日とし、不明な場合には“不明”と入力する。 <table border="1" data-bbox="539 199 1117 339"> <caption>表 9 入力する属性項目</caption> <thead> <tr> <th>地物名</th> <th>入力する属性項目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>距離標</td> <td>設置日、路線番号、現旧区分、上下区分、接頭文字、距離程、種別、緯度、経度、高さ</td> </tr> <tr> <td>距離標以外の地物</td> <td>設置日</td> </tr> </tbody> </table> 【解説】 属性は、表 9 に示す属性項目を図形単位で入力する。なお、属性項目のうち“設置日”については、各地物を施工対象とした最新の工事の完了日とする。ただし、当該工事において施工対象外となる地物の“設置日”については、既存の完成平面図に工事完了日が記載されている場合にはその工事完了日を入力し、不明な場合には“不明”と入力する。 また、SXF Ver.2.0 で作成する場合、距離標以外の地物項目については、工事管理ファイル (INDEX_C.XML) の「工事件名等—工期終了日」から“設置日”が推定できるため、暫定的に属性を入力しないこととした（巻末資料 2 作成方法 参照）。ただし、距離標は表 9 に示す属性項目を CSV 形式で入力する。なお、CSV ファイルの作成にあたっては、作成支援サイト (http://www.nilim-cdrw.jp/) より提供される「距離標属性入力支援ツール」（Excel 形式ファイル）を利用すること。	地物名	入力する属性項目	距離標	設置日、路線番号、現旧区分、上下区分、接頭文字、距離程、種別、緯度、経度、高さ	距離標以外の地物	設置日	9) 属性入力 完成平面図の各地物には、表 9 に示す属性項目を入力する。属性項目のうち“設置日”については、施工対象箇所は工事完了日とし、既設箇所は既存の完成平面図に工事完了日が記載されている場合にはその日とし、不明な場合には“不明”と入力する。 <table border="1" data-bbox="1155 199 1720 359"> <caption>表 9 入力する属性項目</caption> <thead> <tr> <th>地物名</th> <th>入力する属性項目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>距離標</td> <td>設置日、路線番号、現旧区分、上下区分、接頭文字、距離程、種別、緯度、経度、高さ</td> </tr> <tr> <td>測点</td> <td>設置日、測点番号、追加距離、高さ、横断勾配（左）、横断勾配（右）</td> </tr> <tr> <td>距離標および測点以外の地物</td> <td>設置日</td> </tr> </tbody> </table> 【解説】 属性は、表 9 に示す属性項目を図形単位で入力する。なお、属性項目のうち“設置日”については、各地物を施工対象とした最新の工事の完了日とする。ただし、当該工事において施工対象外となる地物の“設置日”については、既存の完成平面図に工事完了日が記載されている場合にはその工事完了日を入力し、不明な場合には“不明”と入力する。 また、SXF Ver.2.0 で作成する場合、距離標および測点以外の地物項目については、工事管理ファイル (INDEX_C.XML) の「工事件名等—工期終了日」から“設置日”が推定できるため、暫定的に属性を入力しないこととした（巻末資料 2 作成方法 参照）。ただし、距離標および測点は表 9 に示す属性項目を CSV 形式で入力する。なお、CSV ファイルの作成にあたっては、作成支援サイト (http://www.nilim-cdrw.jp/) より提供される「距離標・測点属性入力支援ツール」（Excel 形式ファイル）を利用すること。	地物名	入力する属性項目	距離標	設置日、路線番号、現旧区分、上下区分、接頭文字、距離程、種別、緯度、経度、高さ	測点	設置日、測点番号、追加距離、高さ、横断勾配（左）、横断勾配（右）	距離標および測点以外の地物	設置日	縦横断情報を取得することを目的に測点地物を新たに定義したため
	地物名	入力する属性項目																
距離標	設置日、路線番号、現旧区分、上下区分、接頭文字、距離程、種別、緯度、経度、高さ																	
距離標以外の地物	設置日																	
地物名	入力する属性項目																	
距離標	設置日、路線番号、現旧区分、上下区分、接頭文字、距離程、種別、緯度、経度、高さ																	
測点	設置日、測点番号、追加距離、高さ、横断勾配（左）、横断勾配（右）																	
距離標および測点以外の地物	設置日																	
測点地物の追加に伴う表現の変更	10) 距離標の取得 距離標の属性として入力する緯度、経度、高さについては、別途現地計測された距離標の情報を監督職員より借用して利用するものとし、必ず 2 点以上確保するものとする。 ただし、新設舗装工事で距離標が未整備である場合には、設計・施工時の測点情報を代用することができる。 また、道路修繕工事で、現地計測された距離標を 2 点以上確保できない場合には、その後の測量実施を勘案し、工事区間の起終点近傍の百米標 2 点の測量について、監督職員と協議を行うこととする。 【解説】 完成平面図に記載する距離標には、「一級国道地点標の設置について」および「地点標設置指針・同解説（案）の送付について」に基づき、設置日、路線番号、現旧区分、上下区分、接頭文字および種別等の基本情報に加え、緯度・経度、高さ (T.P.) および距離程を属性として入力するものとする。このうち、1km 毎の地点標における緯度、経度および高さ等の位置情報については、別途、平成 18 年度より全国の直轄国道における 1km 毎の地点標を対象に 4 級基準点相当の測量が予定されているため、当該成果を監督職員より借用して利用するものとする。なお、GIS の大縮尺系の共通基盤である「道路基盤データ」へ変換する際の完成平面図の位置を固定するため、少なくとも 1 ファイルに付き 2 点以上の距離標を確保するものとする。 また、1km 毎の地点標を補完する百米標の属性については、CAD 上でプロットした座標値を変換した緯度、経度を入力し、高さ (T.P.) には“0”と入力することによりよい。 ただし、新設舗装工事で、距離標が未整備である場合には、発注図に記載されている測点を代用できるものとし、測点の緯度・経度および高さについては、設計時に用いた座標値および計画路面高から求めてよい。 なお、現地計測された 1km 毎の地点標が工事区間内に 1 点しかない、もしくは 1 点もない場合には、工事において距離標の緯度・経度、高さ等を測量し、これを代用することで 2 点を確保する必要がある。この場合、その後の 1km 毎の地点標に対する測量実施を勘案し、工事区間の起終点近傍の百米標を対象とするものとし、実施に当たっては、監督職員と協議を行うものとする。 現地計測を行う場合は、TS 法および GPS 法を用い、その精度は 4 級基準点測量と同レベルとし、公共測量作業規程に基づく基準点測量の実施は不要とする。 また、計測作業については、以下の方法を基本とする。 <ul style="list-style-type: none"> 位置：距離標近傍の路面に鋸を打設するなどして、作業性を確保した上で計測する。 高さ：距離標が設置されている直近の路面高 (T.P.) を計測する。計測時に利用する水準点は、近傍にある水準点や施工時に仮設されたベンチマークとする。 なお、距離標の記載全般については、「II. 作成編 1-4. 距離標」に従うものとする。	10) 距離標の取得 距離標の属性として入力する緯度、経度、高さについては、別途現地計測された距離標の情報を監督職員より借用して利用するものとし、必ず 2 点以上確保するものとする。 ただし、新設舗装工事で距離標が未整備である場合には、設計・施工時の測点情報を用いて距離標地物を作成することができる。 また、道路修繕工事で、現地計測された距離標を 2 点以上確保できない場合には、その後の測量実施を勘案し、工事区間の起終点近傍の百米標 2 点の測量について、監督職員と協議を行うこととする。 【解説】 完成平面図に記載する距離標には、「一級国道地点標の設置について」および「地点標設置指針・同解説（案）の送付について」に基づき、設置日、路線番号、現旧区分、上下区分、接頭文字および種別等の基本情報に加え、緯度・経度、高さ (T.P.) および距離程を属性として入力するものとする。このうち、1km 毎の地点標における緯度、経度および高さ等の位置情報については、別途、平成 18 年度より全国の直轄国道における 1km 毎の地点標を対象に 4 級基準点相当の測量が予定されているため、当該成果を監督職員より借用して利用するものとする。なお、GIS の大縮尺系の共通基盤である「道路基盤地図情報」へ変換する際の完成平面図の位置を固定するため、少なくとも 1 ファイルに付き 2 点以上の距離標を確保するものとする。 また、1km 毎の地点標を補完する百米標の属性については、CAD 上でプロットした座標値を変換した緯度、経度を入力し、高さ (T.P.) には“0”と入力することによりよい。 ただし、新設舗装工事で、距離標が未整備である場合には、発注図に記載されている測点情報を用いて距離標地物を作成できるものとし、測点の緯度・経度および高さについては、設計時に用いた座標値および計画路面高から求めてよい。 なお、現地計測された 1km 毎の地点標が工事区間内に 1 点しかない、もしくは 1 点もない場合には、工事において距離標の緯度・経度、高さ等を測量し、これを代用することで 2 点を確保する必要がある。この場合、その後の 1km 毎の地点標に対する測量実施を勘案し、工事区間の起終点近傍の百米標を対象とするものとし、実施に当たっては、監督職員と協議を行うものとする。 現地計測を行う場合は、TS 法および GPS 法を用い、その精度は 4 級基準点測量と同レベルとし、公共測量作業規程に基づく基準点測量の実施は不要とする。 また、計測作業については、以下の方法を基本とする。 <ul style="list-style-type: none"> 位置：距離標近傍の路面に鋸を打設するなどして、作業性を確保した上で計測する。 高さ：距離標が設置されている直近の路面高 (T.P.) を計測する。計測時に利用する水準点は、近傍にある水準点や施工時に仮設されたベンチマークとする。 なお、距離標の記載全般については、「II. 作成編 1-4. 距離標」に従うものとする。	誤解を招く可能性のある表現を見直す必要があるため															

番号	対象箇所、趣旨	平成18年8月版	改定版（平成20年3月）	修正理由
(11)	<p>II. 電子納品編 1. 完成平面図 1-2. データ作成</p> <p>測点地物の追加</p> <p>(交差点や拡幅箇所等にて複数の横断勾配が存在する場合の対応方法の追加)</p> <p>(一方向単路における横断勾配の取得方法の追加)</p>		<p>11) 測点の取得</p> <div data-bbox="1142 119 1724 231" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>測点の属性として入力する測点番号、追加距離、高さ、横断勾配（右）、横断勾配（左）については、監督職員より貸与される縦断面図および横断面図に記載されている測点番号、追加距離、計画路面高、計画横断勾配を利用する。監督職員より縦断面図および横断面図が貸与されない場合、出来形測量結果として整理した測点番号、追加距離、路面高、横断勾配を入力する。</p> </div> <p>【解説】</p> <p>測点の属性として入力する測点番号、追加距離、高さ、横断勾配（左）、横断勾配（右）については、監督職員より貸与される縦断面図および横断面図に記載されている測点番号、追加距離、計画路面高（T.P.）、横断勾配の値を利用する。</p> <p>高さ属性および横断勾配属性は、図 20 を参考に入力する。なお、横断勾配（左）には工事起点から終点方向に向かって左側車線の横断勾配値、横断勾配（右）には工事起点から終点方向に向かって右側車線の横断勾配値を入力する。横断勾配の属性値は、道路中央部から外側になる場合は「-」の符号を記載し、逆勾配の場合には「+」の符号を記載する（「+」については省略可）。また、中央分離帯が設置されている道路における高さの属性値は、図 21 を参考に右側および左側の各々の路面高の平均値を入力する。</p> <p>監督職員より縦断面図および横断面図が貸与されず、計画路面高や横断勾配の設計値が不明な場合は、出来形測量により取得した値を代用する。高さ属性の入力値は表 10 を参考に取得する。路面高が取得できない場合は、高さの属性に“9999.999”を入力すること。</p> <div data-bbox="1142 526 1691 638"> </div> <p>図 20 一般的な道路における高さ属性を入力する測点の位置</p> <div data-bbox="1243 694 1601 837"> </div> <p>図 21 右側と左側で計画路面高が異なる場合の高さ属性を入力する測点の位置</p> <p>左右の計画路面高が異なる場合には、平均値を高さ属性を入力する。 (例) 右側計画高さ1011.2、左側計画高さ1007.8の場合、$(1011.2+1007.8)/2=1009.5$を高さ属性として入力。</p> <div data-bbox="1265 917 1579 1061"> </div> <p>図 22 交差点や拡幅箇所等にて複数の横断勾配が存在する場合の横断勾配の取得方法</p> <div data-bbox="1265 1236 1556 1428"> </div> <p>図 23 測道、ランプ等的一方向単路における横断勾配の入力値</p> <p>一方向単路における横断勾配の取得方法については、図 23 を参考に、道路中心線を境にして左右の横断勾配を入力する。片勾配の場合は左右で符号が異なることに留意して入力すること。</p>	<p>縦横断情報を取得することを目的に測点地物を新たに定義したため</p>

表 10 監督職員より縦断面および横断面が貸与されない場合の高さ属性を入力する測点の位置

平面図	横断面図
<p>左右対称の道路(中央分離帯なし)</p>	<p>単道</p> <p>計測すべき路側高</p> <p>高さ属性を入力する測点の位置</p> <p>左側 右側</p> <p>【監督職員より縦断面図が貸与されない場合】に適用してください。道路中心線が道路幅員の中心となる場合は、道路中心線から道路幅員の中心までの距離を計測し、高さ属性を入力する。</p>
<p>中央分離帯が設置されている道路(左右の路面高が異なる場合)</p>	<p>単道</p> <p>左右で路面高が異なる場合:</p> <p>計測すべき左側路側高</p> <p>計測すべき右側路側高</p> <p>高さ属性を入力する測点の位置</p> <p>中央分離帯</p> <p>左側 右側</p> <p>【中央分離帯の設置位置が異なる場合】に適用してください。左右の路面高が異なる場合は、平均値を適用してください。中央分離帯がある場合には、その位置を適用する。</p>
<p>交差点手前で右折レーンが設置されている道路</p>	<p>単道</p> <p>計測すべき左側路側高</p> <p>計測すべき路側高(右折の場合)</p> <p>高さ属性を入力する測点の位置</p> <p>左側 右側</p> <p>【中央分離帯の設置位置が異なる場合】に適用してください。左右の路面高が異なる場合は、平均値を適用してください。</p>
<p>道路の片側を拡幅されている道路</p>	<p>単道</p> <p>計測すべき左側路側高</p> <p>【道路中心線が不明な場合】に適用してください。道路中心線が不明な場合は、道路中心線が分かる場合の測点の位置を入力する。</p> <p>計測すべき右側路側高</p> <p>高さ属性を入力する測点の位置</p> <p>内側路側</p> <p>【監督職員より縦断面図が貸与されない場合】に適用してください。道路中心線が道路幅員の中心となる場合は、道路中心線から道路幅員の中心までの距離を計測し、高さ属性を入力する。</p>
<p>道路の片側を暫定共用されている道路</p>	<p>単道</p> <p>計測すべき路側高</p> <p>高さ属性を入力する測点の位置</p> <p>暫定形状</p> <p>完成形状</p> <p>【監督職員より縦断面図が貸与されない場合】に適用してください。</p>

※道路の中央とは、軌道が道路の側端に寄って設けられている場合においては当該道路の軌道敷を除いた部分の中央とし、道路標識等による中央線が設けられているときはその中央線の設けられた道路の部分とする。(道路交通法第17条第4項より)

番号	対象箇所、趣旨	平成18年8月版	改定版（平成20年3月）	修正理由
(12)	<p>II. 電子納品編 2. 完成縦断面</p> <p>完成縦断面に関する記載の追加</p>		<p>2. 完成縦断面</p> <p>2-1. 趣旨</p> <p>完成縦断面は、工事目的物の縦断面構造に関する完成形状を示した図面であり、施工された公物の管理および後の計画・設計・工事等に利用されるものである。特に維持管理段階において利用される道路の基盤的なデータの整備においては、道路面の高さ、勾配情報等を取得するために利用される。</p> <p>よって本編では、完成縦断面の電子納品について、ファイル形式、ファイル単位、取得対象物、レイヤ分類、作図ルール、図面様式、格納フォルダについて規定した。</p> <p>【解説】 縦断面を取得することにより、「道路基盤地図情報」に高さ、横断勾配情報等を加えることができ、ITSでの活用を始め、様々な高度利用が可能となる。 このため本編では、完成縦断面の電子納品に関連する事項を規定した。</p> <p>2-2. データ作成</p> <p>1) ファイル形式</p> <p>完成縦断面のファイル形式は、「CAD製図基準（案）」に従い作成するものとする。</p> <p>【解説】 完成平面図のファイル形式はSXF Ver.3.xの仕様を標準とするが、完成縦断面図は、SXF Ver.2.0の仕様で作成してもよい。</p> <p>2) ファイル単位</p> <p>完成縦断面のファイル単位は、工事区間延長に基づき設定するものとする。</p> <p>【解説】 完成平面図のファイル単位は、原則1工事1ファイルとしているが、完成縦断面図は、工事区間延長に基づき適宜設定する。</p> <p>3) 部分図の利用</p> <p>完成縦断面図の作成においては、部分図の利用に関する制限を設けない。</p> <p>【解説】 完成平面図の作成では、SXF仕様書における部分図の概念に基づき、全ての図形を一つの部分図に作図することとしているが、完成縦断面図は、部分図の利用に関する制限を設けない。</p> <p>4) 取得対象項目</p> <p>完成縦断面図は、測点地物の属性入力に必要な測点番号、追加距離、路面高、横断勾配（左）、横断勾配（右）を取得対象とし、監督職員から貸与される設計変更で更新された最終的な縦断面図を基に取得するものとする。</p> <p>監督職員から設計変更で更新された最終的な縦断面図が貸与されない場合や貸与された図面に取得対象項目が不足している場合は、出来形測量結果から測点番号、追加距離、測点の路面高、横断勾配（左）、横断勾配（右）を取得するものとする。</p> <p>【解説】 監督職員から設計変更で更新された最終的な縦断面図が貸与される場合は、縦断面図に取得対象項目である測点番号、追加距離、路面高、横断勾配（左）、横断勾配（右）が記載されていることを確認し、不足がなければ貸与図面を利用して完成縦断面図を作成する。 貸与されない場合や貸与されたがその図面に取得対象項目が不足している場合は、出来形測量結果から測点番号、追加距離、測点の路面高、横断勾配（左）、横断勾配（右）を取得し、完成縦断面図を作成する。</p>	<p>縦横断情報の基となる情報として完成縦断面図の納品を新たに求めるため</p>

番号	対象箇所、趣旨	平成18年8月版	改定版（平成20年3月）	修正理由																								
(13)	II. 電子納品編 2. 完成縦断面図 完成縦断面図に関する記載の追加		<p>5) 図形データ作成</p> <p>完成縦断面図に用いる図形は「CAD 製図基準（案）」に従い作成するものとする。</p> <p>【解説】 完成縦断面図では、「CAD 製図基準（案）」に準拠して作図するものとし、完成平面図のような図形の種類および作図ルール等を設けない。</p> <p>6) レイヤ分類</p> <p>完成縦断面図で作成するデータは、「CAD 製図基準（案）」に従ったレイヤに格納する。</p> <p>【解説】 完成縦断面図は、「CAD 製図基準（案）」に準拠したレイヤに格納するものとする。</p> <p>7) 属性入力</p> <p>完成縦断面図には、属性項目を入力する必要はない。</p> <p>【解説】 完成平面図では、各地物に設置日等の属性項目を入力しているが、完成縦断面図では、属性項目を入力しない。</p> <p>8) 図面様式</p> <p>完成縦断面図の出力用の図面様式は、「CAD 製図基準（案）」に準じ、以下のとおりとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 用紙の大きさは、A 列サイズとし、A1 を標準とする。 右下には図面表題欄を作成する。 縮尺は以下を標準とする。 H=1/1000、V=1/100 又は H=1/500、V=1/100（標準） H=1/200～1/500、V=1/100（平面交差点設計） H=1/500、V=1/100（立体交差点設計） <p>【解説】 図面用紙の大きさは、「CAD 製図基準（案）」に準じて、A 列サイズとし、A1 を標準とする。</p> <p>図面表題欄には、「CAD 製図基準（案）」に準じ図 27 に示すように記載事項を入力する。完成平面図では図面表題欄と同じ情報に加え、事業名や契約区分等の情報を含めた図面管理情報を別途入力する必要があるが、完成縦断面図では従来どおりの方法で図面表題欄を作成するものとし、図面管理情報の入力不要である。</p> <p>図面の縮尺は「CAD 製図基準（案）」に準じ、以下のとおりとする。 H=1/1000、V=1/100 又は H=1/500、V=1/100（標準） H=1/200～1/500、V=1/100（平面交差点設計） H=1/500、V=1/100（立体交差点設計）</p> <table border="1" data-bbox="1267 999 1615 1161"> <tr> <td>工 事 名</td> <td colspan="3">国道〇〇号 △△地区改良工事</td> </tr> <tr> <td>図 面 名</td> <td colspan="3">完成縦断面図</td> </tr> <tr> <td>作成年月日</td> <td colspan="3">平成 18 年 3 月 31 日</td> </tr> <tr> <td>縮 尺</td> <td>1 : 500</td> <td>図面番号</td> <td>1 / 1</td> </tr> <tr> <td>会 社 名</td> <td colspan="3">△△建設株式会社</td> </tr> <tr> <td>事業者名</td> <td colspan="3">××地方整備局 □□国道事務所</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">図 27 図面表題欄作成例</p>	工 事 名	国道〇〇号 △△地区改良工事			図 面 名	完成縦断面図			作成年月日	平成 18 年 3 月 31 日			縮 尺	1 : 500	図面番号	1 / 1	会 社 名	△△建設株式会社			事業者名	××地方整備局 □□国道事務所			
工 事 名	国道〇〇号 △△地区改良工事																											
図 面 名	完成縦断面図																											
作成年月日	平成 18 年 3 月 31 日																											
縮 尺	1 : 500	図面番号	1 / 1																									
会 社 名	△△建設株式会社																											
事業者名	××地方整備局 □□国道事務所																											

番号	対象箇所、趣旨	平成18年8月版	改定版（平成20年3月）	修正理由
(14)	<p>II. 電子納品編 4. 電子成果品としての整理方法</p> <p>完成縦断面に関する記載の追加</p>	<p>3. 電子成果品としての整理方法</p> <p>3-1. 成果品項目</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>完成平面図に関する電子成果品は、以下に記すものとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 図形 SXF データ (拡張子 .p21) ・ 属性 XML データ (拡張子 .saf) } SXF Ver.3.0 データ <li style="padding-left: 20px;">(SXF Ver.2.0 では距離標属性データ (拡張子 .csv)) ・ ラスタ地形図 TIF データ (拡張子 .tif) ・ 図面管理ファイル (DRAWING.XML) <p>道路施設基本データに関する電子成果品は、以下に記すものとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 詳細情報データ (拡張子 .csv) ・ 施設一般図データ (拡張子 .jpg または、拡張子 .p21) ・ 現況写真データ (拡張子 .jpg) ・ 位置図データ (拡張子 .pdf) ・ 道路施設基本データ管理ファイル (ORG999.XML) </div> <p>【解説】</p> <p>完成平面図に関する電子成果品は、SXF Ver.3.0 データを構成する図形 SXF データ (拡張子 .p21)、属性 XML データ (拡張子 .saf)、背景図 (地形図) として利用した場合のラスタ地形図 TIF データ (拡張子 .tif)、および DRAWING フォルダを管理する図面管理ファイル (DRAWING.XML) である。</p> <p>完成平面図を SXF Ver.2.0 で作成する場合、属性 XML データの代わりに、距離標属性情報を入力した CSV データとなる (巻末資料 2 2.作成方法 参照)。</p> <p>道路施設基本データに関する電子成果品は、当該工事に関連する施設詳細情報データ (拡張子 .csv)、道路施設一般図データ (拡張子 .jpg または、拡張子 .p21: 作成が必要な工事、施設のみ)、施設現況写真データ (拡張子 .jpg: 作成が必要な施設のみ)、データ作成した施設の位置図データ (拡張子 .pdf) ならびに道路施設基本データ関連フォルダを管理する道路施設基本データ管理ファイル (ORG999.XML) である。</p>	<p>4. 電子成果品としての整理方法</p> <p>4-1. 成果品項目</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>完成平面図に関する電子成果品は、以下に記すものとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 図形 SXF データ (拡張子 .p21) ・ 属性 XML データ (拡張子 .saf) } SXF Ver.3.x データ ・ ラスタ地形図 TIF データ (拡張子 .tif) ・ 図面管理ファイル (DRAWING.XML) <p>完成縦断面図に関する電子成果品は、以下に記すものとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 図形 SXF データ (拡張子 .p21) ・ 図面管理ファイル (DRAWING.XML) <p>道路施設基本データに関する電子成果品は、以下に記すものとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 詳細情報データ (拡張子 .csv) ・ 施設一般図データ (拡張子 .jpg または、拡張子 .p21) ・ 現況写真データ (拡張子 .jpg) ・ 位置図データ (拡張子 .pdf) ・ 道路施設基本データ管理ファイル (ORG999.XML) </div> <p>【解説】</p> <p>完成平面図に関する電子成果品は、SXF Ver.3.x データを構成する図形 SXF データ (拡張子 .p21)、属性 XML データ (拡張子 .saf)、背景図 (地形図) として利用した場合のラスタ地形図 TIF データ (拡張子 .tif)、および DRAWING フォルダを管理する図面管理ファイル (DRAWING.XML) である。</p> <p>また、完成平面図を SXF Ver.2.0 で作成する場合、属性 XML データの代わりに、距離標および測点の属性情報を入力した CSV データ (拡張子 .csv) となる (巻末資料 2 2.作成方法 参照)。</p> <p>完成縦断面図に関する電子成果品は、SXF Ver.2.0 以上の仕様に対応した図形 SXF データ (拡張子 .p21) および DRAWING フォルダを管理する図面管理ファイル (DRAWING.XML) である。</p> <p>道路施設基本データに関する電子成果品は、当該工事に関連する施設詳細情報データ (拡張子 .csv)、道路施設一般図データ (拡張子 .jpg または、拡張子 .p21: 作成が必要な工事、施設のみ)、施設現況写真データ (拡張子 .jpg: 作成が必要な施設のみ)、データ作成した施設の位置図データ (拡張子 .pdf) ならびに道路施設基本データ関連フォルダを管理する道路施設基本データ管理ファイル (ORG999.XML) である。</p>	<p>縦横断面情報の基となる情報として完成縦断面図の納品を新たに求めるため</p>

番号	対象箇所、趣旨	平成18年8月版	改定版（平成20年3月）	修正理由
(15)	<p>II. 電子納品編 4. 電子成果品としての整理方法</p> <p>完成縦断面図に関する記載の追加</p>	<p>3-2. 図面管理ファイル</p> <p>電子成果品として提出する図面管理ファイル（DRAWINGF.XML）については、「CAD 製図基準（案）」に従い、図形 SXF データ（拡張子 .p21）に関する図面管理項目を記入するものとする。</p> <p>なお、図面管理項目内の、「図面情報－図面名」には、「完成平面図」と記入し、「その他－新規レイヤ」には、新規レイヤの略語・概要を記入する。また、「図面情報－基準点情報」は平面直角座標の系番号、X 座標、Y 座標を必須項目とする。</p> <p>【解説】</p> <p>電子成果品として提出する図面管理ファイル（DRAWINGF.XML）の作成にあたっては、基本的に「CAD 製図基準（案）」に従って図形 SXF データ（拡張子 .p21）に関する図面管理項目を記入する。なお、属性 XML データ（拡張子 .saf）、ラスタ地形図 TIFF データ（拡張子 .tif）については特に図面管理ファイルへ記入する必要はない。</p> <p>また、本要領に従って作成した完成平面図については、図面管理項目内の、「図面情報－図面名」に「完成平面図」と記入するものとする。加えて、表 8 に示す太枠で囲んだレイヤは、「CAD 製図基準（案）」で定められていないため、「その他－新規レイヤ」に新規レイヤの略語・概要を記入する。</p> <p>さらに、「図面情報－基準点情報」については、「CAD 製図基準（案）」で「緯度・経度もしくは平面直角座標の X、Y 座標を記入する」としているが、完成平面図は、GIS の大縮尺系の共通基盤である「道路基盤データ」へ変換する際、平面直角座標の系番号が必要となるため、本要領では平面直角座標の系番号、X 座標、Y 座標を必須とすることに注意する。なお、緯度・経度から平面直角座標への変換については、測量 CAD ソフトや国土地理院の座標変換サービス（http://vldb.gsi.go.jp/sokuchi/surveycalc/main.html）等を用いて行うことができる。また、平面直角座標の系番号（1～19）については、例えば該当工事の施工箇所を国土地理院の HP（http://vldb.gsi.go.jp/sokuchi/patchjgd/download/Help/jpc/jpc.htm）等と照合することで確認することができる。</p>	<p>4-2. 図面管理ファイル</p> <p>電子成果品として提出する図面管理ファイル（DRAWINGF.XML）については、「CAD 製図基準（案）」に従い、図形 SXF データ（拡張子 .p21）に関する図面管理項目を記入するものとする。</p> <p>なお、図面管理項目内の、「図面情報－図面名」には、「完成平面図については“完成平面図”、完成縦断面図については“完成縦断面図”」と記入し、「その他－新規レイヤ」には、新規レイヤの略語・概要を記入する。また、「図面情報－基準点情報」は平面直角座標の系番号、X 座標、Y 座標を必須項目とする。</p> <p>【解説】</p> <p>電子成果品として提出する図面管理ファイル（DRAWINGF.XML）の作成にあたっては、基本的に「CAD 製図基準（案）」に従って図形 SXF データ（拡張子 .p21）に関する図面管理項目を記入する。</p> <p>また、図面管理項目内の、「図面情報－図面名」には、「完成平面図については“完成平面図”、完成縦断面図については“完成縦断面図”」と記入するものとする。加えて、完成平面図については表 8 に示す太枠で囲まれたレイヤは、「CAD 製図基準（案）」で規定されていないため、「その他－新規レイヤ」に新規レイヤの略語・概要を記入する。</p> <p>さらに、「図面情報－基準点情報」については、「CAD 製図基準（案）」で「緯度・経度もしくは平面直角座標の X、Y 座標を記入する」としているが、完成平面図は、GIS の大縮尺系の共通基盤である「道路基盤データ」へ変換する際、平面直角座標の系番号が必要となるため、本要領では平面直角座標の系番号、X 座標、Y 座標を必須とすることに注意する。なお、緯度・経度から平面直角座標への変換については、測量 CAD ソフトや国土地理院の座標変換サービス（http://vldb.gsi.go.jp/sokuchi/surveycalc/main.html）等を用いて行うことができる。また、平面直角座標の系番号（1～19）については、例えば該当工事の施工箇所を国土地理院の HP（http://vldb.gsi.go.jp/sokuchi/patchjgd/download/Help/jpc/jpc.htm）で照合すること等を確認することができる。</p>	<p>縦横断面情報の基となる情報として完成縦断面図の納品を新たに求めるため</p>

番号	対象箇所、趣旨	平成18年8月版	改定版(平成20年3月)	修正理由																																																
(16)	<p>II. 電子納品編 4. 電子成果品としての整理方法</p> <p>今後予定されている「CAD製図基準(案)」の改訂を考慮した構成の見直し</p>	<p>3-4. 完成平面図ファイル命名規則</p> <p>完成平面図に関する電子成果品は、表 17 に示すファイル命名規則に従い整理する。</p> <table border="1" data-bbox="548 135 1108 510"> <caption>表 17 完成平面図ファイル命名規則</caption> <thead> <tr> <th colspan="2">ファイル名</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>C</td> <td>0 PL 001 Z .p21</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>拡張子: 図形 SXF データ : .p21 属性 XML データ : .saf ラスタ地形図 TIFF データ : .tif</td> <td>拡張子</td> </tr> <tr> <td></td> <td>改定履歴: ※完成平面図は最終形を表す“Z”とする。</td> <td>0~9, A~Z</td> </tr> <tr> <td></td> <td>図面番号: ※図形 SXF データ、属性 XML データは、同一の図面番号を用いる。 ただし、ラスタ地形図についてはこの限りではない。</td> <td>001~999</td> </tr> <tr> <td></td> <td>図面種類: 図形 SXF データ : PL 属性 XML データ : PL ラスタ地形図 TIFF データ : RT</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>整理番号 : 0~9 ※CAD 製図基準に従い、必要に応じ利用する。</td> <td>0~9</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ライフサイクル : どの段階で作成したデータかを表す。 ここでは施工段階である“C”を採用。</td> <td>S : 測量, D : 設計 C : 施工, M : 維持管理</td> </tr> </tbody> </table> <p>【解説】</p> <p>完成平面図の成果品のファイル名は、表 17 の規則によるものとする。</p> <p>図形 SXF データと属性 XML データについては、ファイル名を同一とし、拡張子のみ異なるものとする。また、ラスタ地形図 TIFF データの図面番号については、図形 SXF データ 1 ファイルに対して複数存在する場合、図形 SXF データの図面番号と異なってもよいものとする。なお、現行の CAD 製図基準(案)では SXF Ver.3.0 に対応した属性 XML データおよびラスタ地形図 TIFF データの命名規則がないため、本要領で独自に規定している。</p> <p>完成平面図を SXF Ver.2.0 で作成する場合、属性 XML データの代わりに、距離標の属性情報を入力した CSV データを作成する(巻末資料 2 2.作成方法 参照)。</p>	ファイル名		備考	C	0 PL 001 Z .p21			拡張子: 図形 SXF データ : .p21 属性 XML データ : .saf ラスタ地形図 TIFF データ : .tif	拡張子		改定履歴: ※完成平面図は最終形を表す“Z”とする。	0~9, A~Z		図面番号: ※図形 SXF データ、属性 XML データは、同一の図面番号を用いる。 ただし、ラスタ地形図についてはこの限りではない。	001~999		図面種類: 図形 SXF データ : PL 属性 XML データ : PL ラスタ地形図 TIFF データ : RT			整理番号 : 0~9 ※CAD 製図基準に従い、必要に応じ利用する。	0~9		ライフサイクル : どの段階で作成したデータかを表す。 ここでは施工段階である“C”を採用。	S : 測量, D : 設計 C : 施工, M : 維持管理	<p>4-4. 完成平面図ファイル命名規則</p> <p>完成平面図に関する電子成果品は、表 18 に示すファイル命名規則に従い整理する。</p> <table border="1" data-bbox="1142 135 1713 510"> <caption>表 18 完成平面図ファイル命名規則</caption> <thead> <tr> <th colspan="2">ファイル名</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>C</td> <td>0 PL 001 Z .p21</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>拡張子: 図形 SXF データ : .p21 属性 XML データ : .saf ラスタ地形図 TIFF データ : .tif</td> <td>拡張子</td> </tr> <tr> <td></td> <td>改定履歴: ※完成平面図は最終形を表す“Z”とする。</td> <td>0~9, A~Z</td> </tr> <tr> <td></td> <td>図面番号: ※図形 SXF データ、属性 XML データは、同一の図面番号を用いる。 ただし、ラスタ地形図についてはこの限りではない。</td> <td>001~999</td> </tr> <tr> <td></td> <td>図面種類: 図形 SXF データ : PL 属性 XML データ : PL ラスタ地形図 TIFF データ : RT</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>整理番号 : 0~9 ※CAD 製図基準に従い、必要に応じ利用する。</td> <td>0~9</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ライフサイクル : どの段階で作成したデータかを表す。 ここでは施工段階である“C”を採用。</td> <td>S : 測量, D : 設計 C : 施工, M : 維持管理</td> </tr> </tbody> </table> <p>【解説】</p> <p>完成平面図の成果品のファイル名は、表 18 の規則によるものとする。</p> <p>完成平面図を SXF Ver.2.0 で作成する場合、属性 XML データの代わりに、距離標の属性情報を入力した CSV データを作成する(巻末資料 2 2.作成方法 参照)。</p> <p>(補足)</p> <p>現行の CAD 製図基準(案)では SXF Ver.3.x に対応した属性 XML データおよびラスタ地形図 TIFF データの命名規則がないため、本要領で独自に規定している。</p> <p>図形 SXF データと属性 XML データについては、ファイル名を同一とし、拡張子のみ異なるものとする。また、ラスタ地形図 TIFF データの図面番号については、図形 SXF データ 1 ファイルに対して複数存在する場合、図形 SXF データの図面番号と異なってもよいものとする。</p>	ファイル名		備考	C	0 PL 001 Z .p21			拡張子: 図形 SXF データ : .p21 属性 XML データ : .saf ラスタ地形図 TIFF データ : .tif	拡張子		改定履歴: ※完成平面図は最終形を表す“Z”とする。	0~9, A~Z		図面番号: ※図形 SXF データ、属性 XML データは、同一の図面番号を用いる。 ただし、ラスタ地形図についてはこの限りではない。	001~999		図面種類: 図形 SXF データ : PL 属性 XML データ : PL ラスタ地形図 TIFF データ : RT			整理番号 : 0~9 ※CAD 製図基準に従い、必要に応じ利用する。	0~9		ライフサイクル : どの段階で作成したデータかを表す。 ここでは施工段階である“C”を採用。	S : 測量, D : 設計 C : 施工, M : 維持管理	<p>縦横断情報の基となる情報として完成縦断図の納品を新たに求めるため</p> <p>「CAD製図基準(案)」の改訂により影響を受ける部分については、補足扱いとして整理した。</p>
ファイル名		備考																																																		
C	0 PL 001 Z .p21																																																			
	拡張子: 図形 SXF データ : .p21 属性 XML データ : .saf ラスタ地形図 TIFF データ : .tif	拡張子																																																		
	改定履歴: ※完成平面図は最終形を表す“Z”とする。	0~9, A~Z																																																		
	図面番号: ※図形 SXF データ、属性 XML データは、同一の図面番号を用いる。 ただし、ラスタ地形図についてはこの限りではない。	001~999																																																		
	図面種類: 図形 SXF データ : PL 属性 XML データ : PL ラスタ地形図 TIFF データ : RT																																																			
	整理番号 : 0~9 ※CAD 製図基準に従い、必要に応じ利用する。	0~9																																																		
	ライフサイクル : どの段階で作成したデータかを表す。 ここでは施工段階である“C”を採用。	S : 測量, D : 設計 C : 施工, M : 維持管理																																																		
ファイル名		備考																																																		
C	0 PL 001 Z .p21																																																			
	拡張子: 図形 SXF データ : .p21 属性 XML データ : .saf ラスタ地形図 TIFF データ : .tif	拡張子																																																		
	改定履歴: ※完成平面図は最終形を表す“Z”とする。	0~9, A~Z																																																		
	図面番号: ※図形 SXF データ、属性 XML データは、同一の図面番号を用いる。 ただし、ラスタ地形図についてはこの限りではない。	001~999																																																		
	図面種類: 図形 SXF データ : PL 属性 XML データ : PL ラスタ地形図 TIFF データ : RT																																																			
	整理番号 : 0~9 ※CAD 製図基準に従い、必要に応じ利用する。	0~9																																																		
	ライフサイクル : どの段階で作成したデータかを表す。 ここでは施工段階である“C”を採用。	S : 測量, D : 設計 C : 施工, M : 維持管理																																																		
(17)	完成縦断図に関する記載の追加		<p>4-5. 完成縦断図ファイル命名規則</p> <p>完成縦断図に関する電子成果品は、表 19 に示すファイル命名規則に従い整理する。</p> <table border="1" data-bbox="1142 877 1713 1189"> <caption>表 19 完成縦断図ファイル命名規則</caption> <thead> <tr> <th colspan="2">ファイル名</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>C</td> <td>0 PF 001 Z .p21</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>拡張子: ※完成縦断図は.p21のみとする</td> <td>拡張子</td> </tr> <tr> <td></td> <td>改定履歴: ※完成縦断図は最終形を表す“Z”とする。</td> <td>0~9, A~Z</td> </tr> <tr> <td></td> <td>図面番号:</td> <td>001~999</td> </tr> <tr> <td></td> <td>図面種類: 図形 SXF データ : PF</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>整理番号 : 0~9 ※CAD 製図基準に従い、必要に応じ利用する。</td> <td>0~9</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ライフサイクル : どの段階で作成したデータかを表す。 ここでは施工段階である“C”を採用。</td> <td>S : 測量, D : 設計 C : 施工, M : 維持管理</td> </tr> </tbody> </table> <p>【解説】</p> <p>完成縦断図の成果品のファイル名は、表 19 の規則によるものとする。</p>	ファイル名		備考	C	0 PF 001 Z .p21			拡張子: ※完成縦断図は.p21のみとする	拡張子		改定履歴: ※完成縦断図は最終形を表す“Z”とする。	0~9, A~Z		図面番号:	001~999		図面種類: 図形 SXF データ : PF			整理番号 : 0~9 ※CAD 製図基準に従い、必要に応じ利用する。	0~9		ライフサイクル : どの段階で作成したデータかを表す。 ここでは施工段階である“C”を採用。	S : 測量, D : 設計 C : 施工, M : 維持管理	<p>縦横断情報の基となる情報として完成縦断図の納品を新たに求めるため</p>																								
ファイル名		備考																																																		
C	0 PF 001 Z .p21																																																			
	拡張子: ※完成縦断図は.p21のみとする	拡張子																																																		
	改定履歴: ※完成縦断図は最終形を表す“Z”とする。	0~9, A~Z																																																		
	図面番号:	001~999																																																		
	図面種類: 図形 SXF データ : PF																																																			
	整理番号 : 0~9 ※CAD 製図基準に従い、必要に応じ利用する。	0~9																																																		
	ライフサイクル : どの段階で作成したデータかを表す。 ここでは施工段階である“C”を採用。	S : 測量, D : 設計 C : 施工, M : 維持管理																																																		

番号	対象箇所、趣旨	平成18年8月版	改定版（平成20年3月）	修正理由
(18)	完成縦断面に関する記載の追加	<p>3-6. 格納フォルダ</p> <p>本要領の規定に基づき作成した完成図等の電子データは、「工事完成図書の電子納品要領(案)」に従い、所定のフォルダに格納するものとする。</p> <p>完成平面図データ（図形 SXF データ（拡張子 .p21）、属性 XML データ（拡張子 .saf）の 2 種類）およびラスタ地形図 TIFF データ（拡張子 .tif）は DRAWINGF（完成図フォルダ）に格納する。</p> <p>道路施設基本データは、「OTHERS」フォルダに「ORG999」フォルダを作成し、さらに「ORG999」フォルダの下に「SYOGEN」フォルダを作成する。その直下に各施設の道路施設諸元データを格納する道路施設諸元サブフォルダを作成する。道路施設諸元サブフォルダ名称は、作成する施設の施設番号に合わせる。（例、「C050」（舗装）、「D010」（橋梁）、「D020」（橋側歩道橋）、「D040」（トンネル）など）。さらに、道路施設諸元サブフォルダの直下に個別の施設毎のフォルダを作成する。</p> <p>【解説】</p> <p>完成平面図ならびに道路施設基本データの成果品格納フォルダを、図 23 に示す。</p> <p>なお、道路施設基本データの道路施設一般図、現況写真データは、作成する施設と関連付けるため、図 23 に示す、道路施設基本データ用のフォルダ（S_DRAW、S_PHOTO）に格納すること。</p>	<p>4-7. 格納フォルダ</p> <p>本要領の規定に基づき作成した完成図等の電子データは、「工事完成図書の電子納品要領(案)」に従い、所定のフォルダに格納するものとする。</p> <p>完成平面図データ（図形 SXF データ（拡張子 .p21）、属性 XML データ（拡張子 .saf）の 2 種類）、ラスタ地形図 TIFF データ（拡張子 .tif）および完成縦断面図データ（拡張子 .p21）を DRAWINGF（完成図フォルダ）に格納する。</p> <p>道路施設基本データは、「OTHERS」フォルダに「ORG999」フォルダを作成し、さらに「ORG999」フォルダの下に「SYOGEN」フォルダを作成する。その直下に各施設の道路施設諸元データを格納する道路施設諸元サブフォルダを作成する。道路施設諸元サブフォルダ名称は、作成する施設の施設番号に合わせる。（例、「C050」（舗装）、「D010」（橋梁）、「D020」（橋側歩道橋）、「D040」（トンネル）など）。さらに、道路施設諸元サブフォルダの直下に個別の施設毎のフォルダを作成する。</p> <p>【解説】</p> <p>完成平面図、道路施設基本データならびに完成縦断面図の成果品格納フォルダを、図 31 に示す。</p> <p>なお、道路施設基本データの道路施設一般図、現況写真データは、作成する施設と関連付けるため、図 31 に示す、道路施設基本データ用のフォルダ（S_DRAW、S_PHOTO）に格納すること。</p>	縦横断面情報の基となる情報として完成縦断面図の納品を新たに求めるため

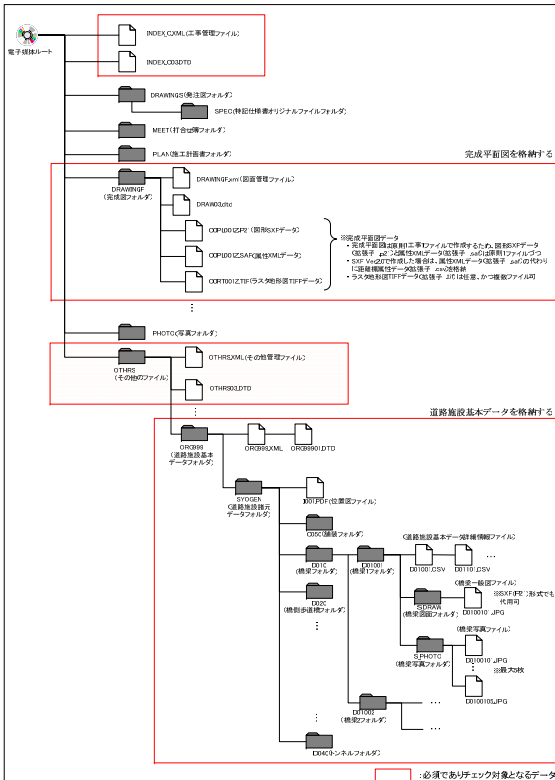
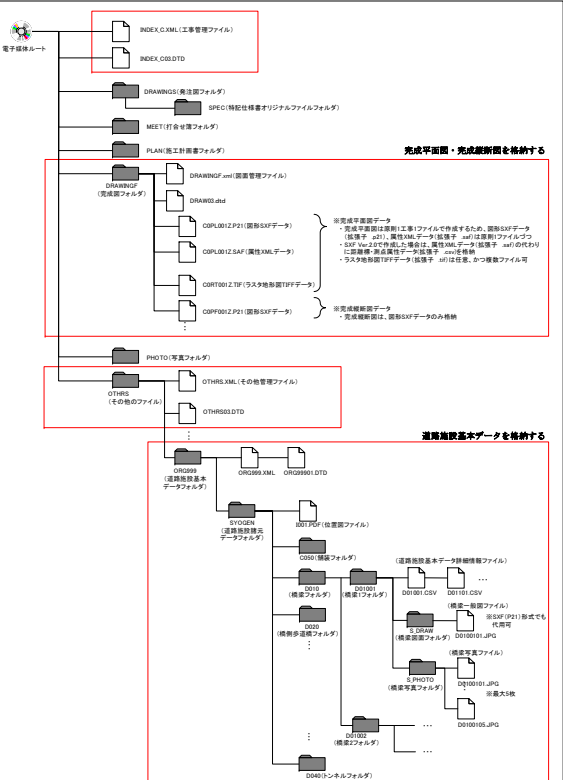
番号	対象箇所、趣旨	平成18年8月版	改定版(平成20年3月)	修正理由
(19)	完成縦断面に関する記載の追加	 <p>完成平面図を格納する</p> <p>道路施設基本データを格納する</p> <p>必須でありチェック対象となるデータ</p>	 <p>完成平面図・完成縦断面を格納する</p> <p>道路施設基本データを格納する</p> <p>必須でありチェック対象となるデータ</p>	縦横断面情報の基となる情報として完成縦断面図の納品を新たに求めるため

図 23 成果品格納フォルダ

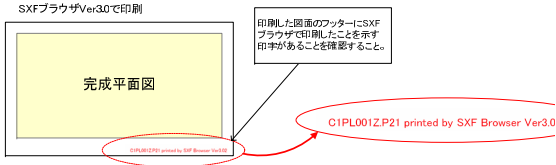

図 31 成果品格納フォルダ

番号	対象箇所、趣旨	平成18年8月版	改定版（平成20年3月）	修正理由
(20)	<p>II. 電子納品編 5. チェック方法</p> <p>完成縦断面図に関する記載の追加</p> <p>今後予定されている「CAD製図基準（案）」の改訂を考慮した構成の見直し</p>	<p>4. チェック方法</p> <p>4-1. 概要</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>請負者は、作成した完成平面図および道路施設基本データについて、作成支援サイトより提供される道路工事完成図等チェックプログラムによるチェックと、目視等によるチェックを行い、合格した成果品を納品するものとする。</p> </div> <p>【解説】</p> <p>請負者は、本要領に基づき作成した完成平面図および道路施設基本データについて、プログラムによるチェックと目視等によるチェックを行う。なお、個別の具体的なチェック項目および内容については、次項以降を参照するものとし、すべての項目についての合格を必須とする。</p> <p>特に、プログラムによるチェックについては、作成支援サイト (http://www.nilim-cdrw.jp/) より提供される道路工事完成図等チェックプログラムを利用するものとする。</p> <p>プログラムによるチェック結果では、作成されたデータにエラーがなかった場合、完成平面図、道路施設基本データそれぞれに、「チェック結果：合格」と記載されたチェックプログラム結果ログが得られる。なお、【確認】欄に0件以外の件数が表示された場合には、検出箇所のデータが正しく作成されていることを目視にて確認し、正しく作成されていることを条件に合格と判断するものとする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>完成平面図データのチェック結果：合格 【エラー】 0件 （【確認】 0件）</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>道路施設基本データのチェック結果：合格 【エラー】 0件 （【確認】 0件）</p> </div> <p style="text-align: center;">図 24 合格の場合のチェックプログラム結果ログ例</p> <p>ここで、図形 SXF データ（拡張子 .p21）をチェックするプログラムについては、道路工事完成図等チェックプログラムの他に電子納品チェックシステムが存在する。電子納品チェックシステムは管理ファイル（拡張子 .xml）の記載内容とともに、図形 SXF データのファイル名、フォルダ名等が「工事完成図書の電子納品要領（案）」に従っているかをチェックするものである。</p> <p>よって、電子成果品の作成および納品に当たっては、図 25 のような手順で道路工事完成図等チェックプログラムおよび電子納品チェックシステムの2つを併用するものとする。</p> <p>なお、現行の CAD 製図基準（案）では4階層のレイヤ名を採用していないため、電子納品チェックシステムにより完成平面図をチェック対象とした場合にはレイヤ名の文字数に関するエラー（メッセージ：【エラー】記述内容が11文字を超えています）が発生するが、現状ではこれを許容するものとする。ただし、それ以外エラーに関しては電子納品運用ガイドライン（案）等に従い、適宜、監督職員に相談するものとする。</p>	<p>5. チェック方法</p> <p>5-1. 概要</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>請負者は、作成した完成平面図および道路施設基本データについて、作成支援サイトより提供される道路工事完成図等チェックプログラムによるチェックと、目視等によるチェックを行い、合格した成果品を納品するものとする。</p> <p>完成縦断面図については、目視等によるチェックを行い、合格した成果品を納品するものとする。</p> </div> <p>【解説】</p> <p>請負者は、本要領に基づき作成した完成平面図および道路施設基本データについて、作成支援サイトより提供される道路工事完成図等チェックプログラムによるチェックと目視等によるチェックを行う。完成縦断面図では、道路工事完成図等チェックプログラムによるチェックは不要い。なお、個別の具体的なチェック項目および内容については、次項以降を参照するものとし、すべての項目についての合格を必須とする。</p> <p>特に、道路工事完成図等チェックプログラムは、作成支援サイト (http://www.nilim-cdrw.jp/) より提供される。</p> <p>プログラムによるチェック結果では、作成されたデータにエラーがなかった場合、完成平面図、道路施設基本データそれぞれに、「チェック結果：合格」と記載されたチェックプログラム結果ログが得られる。なお、【確認】欄に0件以外の件数が表示された場合には、検出箇所のデータを目視にてチェックし、正しく作成されていることが確認できることを条件に合格と判断する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>完成平面図データのチェック結果：合格 【エラー】 0件 （【確認】 0件）</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>道路施設基本データのチェック結果：合格 【エラー】 0件 （【確認】 0件）</p> </div> <p style="text-align: center;">図 32 合格の場合のチェックプログラム結果ログ例</p> <p>ここで、図形 SXF データ（拡張子 .p21）をチェックするプログラムについては、道路工事完成図等チェックプログラムの他に電子納品チェックシステムが存在する。電子納品チェックシステムは管理ファイル（拡張子 .xml）の記載内容とともに、図形 SXF データのファイル名、フォルダ名等が「工事完成図書の電子納品要領（案）」に従っているかをチェックするものである。</p> <p>よって、電子成果品の作成および納品に当たっては、図 33 のような手順で道路工事完成図等チェックプログラムおよび電子納品チェックシステムの2つを併用するものとする。</p>	<p>縦横断情報の基となる情報として完成縦断面図の納品を新たに求めるため</p>

番号	対象箇所、趣旨	平成18年8月版	改定版(平成20年3月)	修正理由
(21)	<p>道路工事完成図等チェックプログラムと電子納品チェックシステムの位置づけの違いの明確化</p> <p>完成縦断面図に関する記載の追加</p>	<p>※1:完成平面図データのチェックでは、表8における4階層レイヤ名とその中のデータ、および属性ファイルについてチェックを行う。 ※2:「電子納品チェックシステム」は電子納品成果全体についてチェックを行う。完成平面図については、CAD製図基準(案)で規定される3階層のレイヤ名を規則等のチェックを行う。 ※3:現在のCAD製図基準(案)では4階層のレイヤ名を採用していないため、完成平面図をチェック対象とした場合にはレイヤ名の文字数に関するエラーが発生するが、現状ではこれを許容するものとする。それ以外のエラーに関しては、電子納品運用ガイドライン(案)に従い、適宜、監督職員に相談する。</p> <p>図 25 道路工事完成図等チェックプログラムの利用イメージ</p>	<p>※1:完成平面図データのチェックでは、表8における4階層レイヤ名とその中のデータ、および属性ファイルについてチェックを行う。 ※2:「電子納品チェックシステム」は電子納品成果全体についてチェックを行う。 ※3:電子納品チェックシステムによるエラーに関しては、電子納品運用ガイドライン(案)に従い、適宜、監督職員に相談する。</p> <p>図 28 道路工事完成図等チェックプログラムの利用イメージ</p> <p>(補足) 現行の CAD 製図基準 (案) では 4 階層のレイヤ名を採用していないため、電子納品チェックシステムにより完成平面図をチェック対象とした場合にはレイヤ名の文字数に関するエラー (メッセージ:【エラー】記述内容が 11 文字を超えています) が発生するが、現状ではこれを許容するものとする。ただし、それ以外のエラーに関しては電子納品運用ガイドライン (案) 等に従い、適宜、監督職員に相談するものとする。</p> <p>5-3. 完成縦断面図に関するチェック方法 完成縦断面図のチェックは、「CAD 製図基準 (案)」に基づき実施するものとする。</p>	<p>道路工事完成図等チェックプログラムと電子納品チェックシステムの位置づけが分かりにくかったため</p> <p>「CAD製図基準(案)」の改訂により影響を受ける部分については、補足扱いとして整理した。</p> <p>縦横断情報の基となる情報として完成縦断面図の納品を新たに求めるため</p>

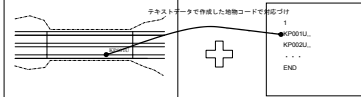
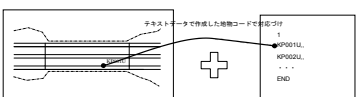
番号	対象箇所、趣旨	平成18年8月版	改定版（平成20年3月）	修正理由																										
(22)	III. 電子納品編 5. チェック方法 データ審査機関の削除 文章構成の見直し	<h4>4-3. 道路施設基本データに関するチェック方法</h4> <p>道路施設基本データのチェックは、表 20 に従って行うものとする。</p> <table border="1" data-bbox="548 108 1115 539"> <caption>表 20 道路施設基本データのチェック項目・内容</caption> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>対象</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">プログラムによるチェック</td> <td>詳細情報</td> <td> ・道路工事完成図等チェックプログラムによるチェックに合格(エラー件数:0)したか？ 参考: プログラムによるチェック内容 ・管理ファイルの記述 ・ファイル構成 ・ファイル名称 ・入力桁数の妥当性 ・必須入力の有無 </td> </tr> <tr> <td>全体</td> <td> ・必要な施設のデータを作成しているか？ ・必要な施設数分のデータを作成しているか？ ・詳細情報(.csv)、必要な一般図・現況写真、位置図(.jpg、.pdf)を作成しているか？ ・詳細情報、一般図、現況写真の整合は取れているか？ </td> </tr> <tr> <td rowspan="2">目視等によるチェック</td> <td>データの過不足、妥当性</td> <td> ・ファイル形式は適切か？ ・新規データ: 必要な項目の作成漏れがないか？ ・変更データ: 変更すべき部分のみを修正しているか？ ・設置位置(距離標等)が施設位置図上の位置と合っているか？ ・距離標の目・差が逆転していないか？ ・要領に従った作成単位で作成しているか？ </td> </tr> <tr> <td>イメージデータ</td> <td> ・ファイル形式は適切か？ ・図面に記載されている数値など判別できるか？ ・位置図に必要なタイトル情報、施設位置の旗揚げ、必要な旗揚げ情報を記載しているか？ ・写真の撮影方法は適切か？ ・写真表示精度に問題はないか？(ピンボケなど) </td> </tr> </tbody> </table> <p>【解説】 道路施設基本データのチェックは、表 20 に示す項目・内容に従い行うとともに、データ審査機関による審査を受けるものとする。特に、目視等によるチェックは、作成データの過不足や、入力の違い等の有無について、表 20 に示す方法により品質評価を実施する。 プログラムおよび目視等によるチェックが完了した後、請負者は道路施設基本データの内容の審査をデータ審査機関に依頼し、審査結果記録を受け取る。審査の結果が「適合」となった後、請負者はチェック結果記録(様式 1)と審査結果記録および道路工事完成図等チェックプログラム結果ログを合わせ、工事完成時に監督職員へ提出するものとする。 なお、審査時に審査機関へ提出する資料は以下のとおりとし、必ず図 23 で規定するフォルダ形式で提出するものとする。ただし、道路施設基本データに関連する情報 (INDEX_C.XML および OTHERS フォルダ以下のデータ) 以外は不要である。</p> <ul style="list-style-type: none"> 道路施設基本データ詳細情報 (電子データ) イメージデータ (電子データ) 道路施設基本データ (総括表・一覧表・詳細表の紙帳票) その他、必要があれば補足資料 	項目	対象	内容	プログラムによるチェック	詳細情報	・道路工事完成図等チェックプログラムによるチェックに合格(エラー件数:0)したか？ 参考: プログラムによるチェック内容 ・管理ファイルの記述 ・ファイル構成 ・ファイル名称 ・入力桁数の妥当性 ・必須入力の有無	全体	・必要な施設のデータを作成しているか？ ・必要な施設数分のデータを作成しているか？ ・詳細情報(.csv)、必要な一般図・現況写真、位置図(.jpg、.pdf)を作成しているか？ ・詳細情報、一般図、現況写真の整合は取れているか？	目視等によるチェック	データの過不足、妥当性	・ファイル形式は適切か？ ・新規データ: 必要な項目の作成漏れがないか？ ・変更データ: 変更すべき部分のみを修正しているか？ ・設置位置(距離標等)が施設位置図上の位置と合っているか？ ・距離標の目・差が逆転していないか？ ・要領に従った作成単位で作成しているか？	イメージデータ	・ファイル形式は適切か？ ・図面に記載されている数値など判別できるか？ ・位置図に必要なタイトル情報、施設位置の旗揚げ、必要な旗揚げ情報を記載しているか？ ・写真の撮影方法は適切か？ ・写真表示精度に問題はないか？(ピンボケなど)	<h4>5-4. 道路施設基本データに関するチェック方法</h4> <p>道路施設基本データのチェックは、表 22 に従って行うものとする。</p> <table border="1" data-bbox="1144 108 1711 539"> <caption>表 22 道路施設基本データのチェック項目・内容</caption> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>対象</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">プログラムによるチェック</td> <td>詳細情報</td> <td> ・道路工事完成図等チェックプログラムによるチェックに合格(エラー件数:0)したか？ 参考: プログラムによるチェック内容 ・管理ファイルの記述 ・ファイル構成 ・ファイル名称 ・入力桁数の妥当性 ・必須入力の有無 </td> </tr> <tr> <td>全体</td> <td> ・必要な施設のデータを作成しているか？ ・必要な施設数分のデータを作成しているか？ ・詳細情報(.csv)、必要な一般図・現況写真、位置図(.jpg、.pdf)を作成しているか？ ・詳細情報、一般図、現況写真の整合は取れているか？ </td> </tr> <tr> <td rowspan="2">目視等によるチェック</td> <td>データの過不足、妥当性</td> <td> ・ファイル形式は適切か？ ・新規データ: 必要な項目の作成漏れがないか？ ・変更データ: 変更すべき部分のみを修正しているか？ ・設置位置(距離標等)が施設位置図上の位置と合っているか？ ・距離標の目・差が逆転していないか？ ・要領に従った作成単位で作成しているか？ </td> </tr> <tr> <td>イメージデータ</td> <td> ・ファイル形式は適切か？ ・図面に記載されている数値など判別できるか？ ・位置図に必要なタイトル情報、施設位置の旗揚げ、必要な旗揚げ情報を記載しているか？ ・写真の撮影方法は適切か？ ・写真表示精度に問題はないか？(ピンボケなど) </td> </tr> </tbody> </table> <p>【解説】 道路施設基本データのチェックは、表 22 に示す項目・内容に従い行う。特に、目視等によるチェックは、作成データの過不足や、入力の違い等の有無について、表 22 に示す方法により品質評価を実施する。 なお、プログラムおよび目視等によるチェックで発見された問題点を解消できない場合、請負者はデータ作成支援機関に内容確認を依頼することができる。 データ内容確認時にデータ作成支援機関へ提出する資料は以下のとおりとし、必ず図 29 で規定するフォルダ形式で提出するものとする。ただし、道路施設基本データに関連する情報 (INDEX_C.XML および OTHERS フォルダ以下のデータ) 以外は不要である。</p> <ul style="list-style-type: none"> 道路施設基本データ詳細情報 (電子データ) イメージデータ (電子データ) 道路施設基本データ (総括表・一覧表・詳細表の紙帳票) その他、必要があれば補足資料 <p>プログラムおよび目視等によるチェックが完了した後、請負者はチェック結果記録(様式 1) および道路工事完成図等チェックプログラム結果ログを合わせ、工事完成時に監督職員へ提出するものとする。</p>	項目	対象	内容	プログラムによるチェック	詳細情報	・道路工事完成図等チェックプログラムによるチェックに合格(エラー件数:0)したか？ 参考: プログラムによるチェック内容 ・管理ファイルの記述 ・ファイル構成 ・ファイル名称 ・入力桁数の妥当性 ・必須入力の有無	全体	・必要な施設のデータを作成しているか？ ・必要な施設数分のデータを作成しているか？ ・詳細情報(.csv)、必要な一般図・現況写真、位置図(.jpg、.pdf)を作成しているか？ ・詳細情報、一般図、現況写真の整合は取れているか？	目視等によるチェック	データの過不足、妥当性	・ファイル形式は適切か？ ・新規データ: 必要な項目の作成漏れがないか？ ・変更データ: 変更すべき部分のみを修正しているか？ ・設置位置(距離標等)が施設位置図上の位置と合っているか？ ・距離標の目・差が逆転していないか？ ・要領に従った作成単位で作成しているか？	イメージデータ	・ファイル形式は適切か？ ・図面に記載されている数値など判別できるか？ ・位置図に必要なタイトル情報、施設位置の旗揚げ、必要な旗揚げ情報を記載しているか？ ・写真の撮影方法は適切か？ ・写真表示精度に問題はないか？(ピンボケなど)	<p>データ審査機関による事前審査と審査結果記録の提出を削除し、データ作成支援機関の任意利用という表現に修正</p> <p>解説の内容を作業手順通りに変更した。</p>
項目	対象	内容																												
プログラムによるチェック	詳細情報	・道路工事完成図等チェックプログラムによるチェックに合格(エラー件数:0)したか？ 参考: プログラムによるチェック内容 ・管理ファイルの記述 ・ファイル構成 ・ファイル名称 ・入力桁数の妥当性 ・必須入力の有無																												
	全体	・必要な施設のデータを作成しているか？ ・必要な施設数分のデータを作成しているか？ ・詳細情報(.csv)、必要な一般図・現況写真、位置図(.jpg、.pdf)を作成しているか？ ・詳細情報、一般図、現況写真の整合は取れているか？																												
目視等によるチェック	データの過不足、妥当性	・ファイル形式は適切か？ ・新規データ: 必要な項目の作成漏れがないか？ ・変更データ: 変更すべき部分のみを修正しているか？ ・設置位置(距離標等)が施設位置図上の位置と合っているか？ ・距離標の目・差が逆転していないか？ ・要領に従った作成単位で作成しているか？																												
	イメージデータ	・ファイル形式は適切か？ ・図面に記載されている数値など判別できるか？ ・位置図に必要なタイトル情報、施設位置の旗揚げ、必要な旗揚げ情報を記載しているか？ ・写真の撮影方法は適切か？ ・写真表示精度に問題はないか？(ピンボケなど)																												
項目	対象	内容																												
プログラムによるチェック	詳細情報	・道路工事完成図等チェックプログラムによるチェックに合格(エラー件数:0)したか？ 参考: プログラムによるチェック内容 ・管理ファイルの記述 ・ファイル構成 ・ファイル名称 ・入力桁数の妥当性 ・必須入力の有無																												
	全体	・必要な施設のデータを作成しているか？ ・必要な施設数分のデータを作成しているか？ ・詳細情報(.csv)、必要な一般図・現況写真、位置図(.jpg、.pdf)を作成しているか？ ・詳細情報、一般図、現況写真の整合は取れているか？																												
目視等によるチェック	データの過不足、妥当性	・ファイル形式は適切か？ ・新規データ: 必要な項目の作成漏れがないか？ ・変更データ: 変更すべき部分のみを修正しているか？ ・設置位置(距離標等)が施設位置図上の位置と合っているか？ ・距離標の目・差が逆転していないか？ ・要領に従った作成単位で作成しているか？																												
	イメージデータ	・ファイル形式は適切か？ ・図面に記載されている数値など判別できるか？ ・位置図に必要なタイトル情報、施設位置の旗揚げ、必要な旗揚げ情報を記載しているか？ ・写真の撮影方法は適切か？ ・写真表示精度に問題はないか？(ピンボケなど)																												

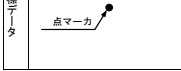
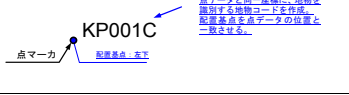
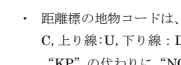
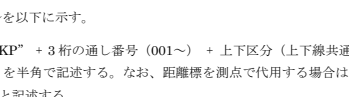
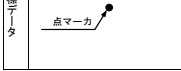
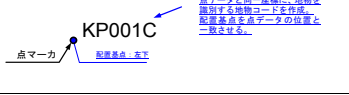
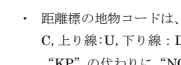
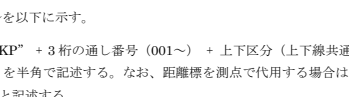
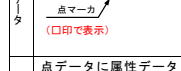
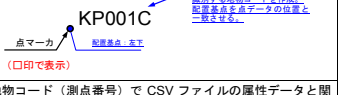

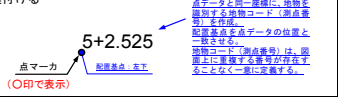
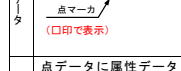
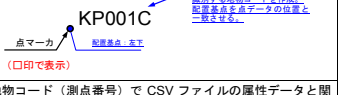

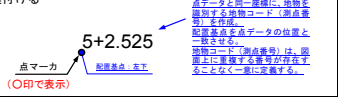
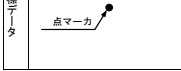
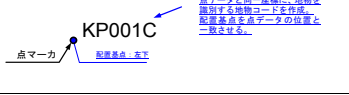
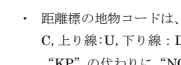
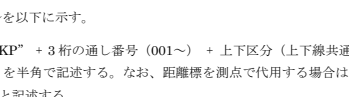
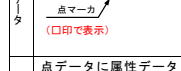
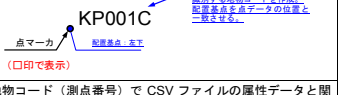

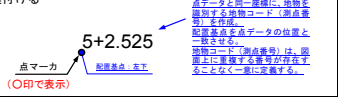
番号	対象箇所、趣旨	平成18年8月版	改定版（平成20年3月）	修正理由												
(23)	III. 電子納品編 6. 電子納品時の確認方法 データ審査機関の削除 出力資料に完成縦断面図を追加	5. 電子納品時の確認方法 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>請負者は、電子成果品の納品時に以下の出力資料を監督職員へ提出するものとし、監督職員は当該資料に基づく内容確認を行うものとする。なお、出力資料のうち、完成平面図の出図を行う場合は、SXF ブラウザ Ver.3.0 を使用し、図面のフッターに SXF ブラウザで印刷したことを示す印字があることを確認すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・完成平面図[※] ・チェック結果記録（様式 1） ・「完成平面図」チェック結果記録（様式 2）[*] ・道路施設基本データの審査結果記録 ・道路工事完成図等チェックプログラム結果ログ <p style="text-align: center;">※完成平面図作成の適用工事のみ提出する資料</p> </div> <p>【解説】</p> <p>請負者は、電子成果品の納品にあたって、打合せ記録簿や施工計画書、現場写真等の従来の電子データに加え、表 21 上段に示す電子データを CD-R 等の媒体に格納して監督職員へ提出し内容確認を受けるものとする。また、請負者は、本要領に関する内容の確認用資料として表 21 下段に示す資料を用意し、電子成果品と併せて監督職員へ提出するものとする。</p> <p style="text-align: center;">表 21 電子成果品の納品時における提出物（本要領関連）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">提出物</th> <th>内容（本要領に関連するもの）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>電子成果品 (CD-Rに格納)</td> <td> 工事管理ファイル (INDEX_C.XML) 図面管理ファイル (DRAWINGF.XML) 図形 SXF データ (拡張子 .p21) 属性 XML データ (拡張子 .saf) (SXF Ver. 2.0 では距離標属性データ (拡張子 .csv)) ラスタ地形図 TIFF データ (拡張子 .tif) (背景図として利用している場合) その他管理ファイル (OTHERS.XML) 道路施設基本データ管理ファイル (ORG909.XML) 道路施設基本データ詳細情報 (拡張子 .csv) 道路施設基本データイメージ情報 (拡張子 .jpg, .p21, .pdf) </td> </tr> <tr> <td>出力資料（紙出力）</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・チェック結果記録（様式 1） ・完成平面図[※] ・「完成平面図」チェック結果記録（様式 2）[*] ・道路施設基本データの審査結果記録 ・道路工事完成図等チェックプログラム結果ログ <p style="text-align: center;">※「完成平面図」作成の適用工事のみ提出する資料</p> </td> </tr> </tbody> </table> <p>監督職員は、上記の他、「4.チェック方法」に記載した完成平面図および道路施設基本データそれぞれのチェック結果をとりまとめたチェック結果記録（様式 1）と、完成平面図に関する請負者のチェック結果である「完成平面図」チェック結果記録（様式 2）、および道路施設基本データに関するデータ審査機関が発行する審査結果記録、並びに道路工事完成図等チェックプログラムによる結果ログにより、成果品内容の確認を行うものとする。なお、完成平面図および道路施設基本データの作成において解消されないエラーが残る場合、事前に監督職員への相談または作成支援サイト (http://www.nilim-cdrw.jp/) への問い合わせ（ヘルプデスク）、もしくは同サイトのデータチェックサービスの利用等を行い、対応方針について確認を行うものとする。</p> <p>また、電子媒体に格納してある電子データのチェックとして、電子納品チェックシステムを利用し、別途チェック結果を提出する際、完成平面図についてはレイヤ名の文字数に関するエラー（【エラー】記述内容が 11 文字を超えています）が検出される。これは、現行の CAD 製図基準（案）が 3 階層のレイヤ命名則を採用し、11 文字以上のレイヤ名を禁止していることに起因する。本要領では独自に 4 階層のレイヤ命名則を採用したことから、これを許容するものとする。</p>	提出物	内容（本要領に関連するもの）	電子成果品 (CD-Rに格納)	工事管理ファイル (INDEX_C.XML) 図面管理ファイル (DRAWINGF.XML) 図形 SXF データ (拡張子 .p21) 属性 XML データ (拡張子 .saf) (SXF Ver. 2.0 では距離標属性データ (拡張子 .csv)) ラスタ地形図 TIFF データ (拡張子 .tif) (背景図として利用している場合) その他管理ファイル (OTHERS.XML) 道路施設基本データ管理ファイル (ORG909.XML) 道路施設基本データ詳細情報 (拡張子 .csv) 道路施設基本データイメージ情報 (拡張子 .jpg, .p21, .pdf)	出力資料（紙出力）	<ul style="list-style-type: none"> ・チェック結果記録（様式 1） ・完成平面図[※] ・「完成平面図」チェック結果記録（様式 2）[*] ・道路施設基本データの審査結果記録 ・道路工事完成図等チェックプログラム結果ログ <p style="text-align: center;">※「完成平面図」作成の適用工事のみ提出する資料</p>	6. 電子納品時の確認方法 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>請負者は、電子成果品の納品時に以下の出力資料を監督職員へ提出するものとし、監督職員は当該資料に基づく内容確認を行うものとする。なお、出力資料のうち、完成平面図の出図を行う場合は、SXF ブラウザ Ver.3.0 以上を使用し、図面のフッターに SXF ブラウザで印刷したことを示す印字があることを確認すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・完成平面図[※] ・完成縦断面図[※] ・チェック結果記録（様式 1） ・「完成平面図」チェック結果記録（様式 2）[*] ・道路工事完成図等チェックプログラム結果ログ <p style="text-align: center;">※完成平面図作成の適用工事のみ提出する資料</p> </div> <p>【解説】</p> <p>請負者は、電子成果品の納品にあたって、打合せ記録簿や施工計画書、現場写真等の従来の電子データに加え、表 23 上段に示す電子データを CD-R 等の媒体に格納して監督職員へ提出し内容確認を受けるものとする。また、請負者は、本要領に関する内容の確認用資料として表 23 下段に示す資料を用意し、電子成果品と併せて監督職員へ提出するものとする。</p> <p style="text-align: center;">表 1 電子成果品の納品時における提出物（本要領関連）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">提出物</th> <th>内容（本要領に関連するもの）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>電子成果品 (CD-Rに格納)</td> <td> 工事管理ファイル (INDEX_C.XML) 図面管理ファイル (DRAWINGF.XML) 完成平面図：図形 SXF データ (拡張子 .p21) 完成平面図：属性 XML データ (拡張子 .saf) (SXF Ver. 2.0 では距離標属性データ (拡張子 .csv)) ラスタ地形図 TIFF データ (拡張子 .tif) (背景図として利用している場合) 完成縦断面図 (拡張子 .p21) その他管理ファイル (OTHERS.XML) 道路施設基本データ管理ファイル (ORG909.XML) 道路施設基本データ詳細情報 (拡張子 .csv) 道路施設基本データイメージ情報 (拡張子 .jpg, .p21, .pdf) </td> </tr> <tr> <td>出力資料（紙出力）</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・チェック結果記録（様式 1） ・完成平面図[※] ・完成縦断面図[※] ・「完成平面図」チェック結果記録（様式 2）[*] ・道路工事完成図等チェックプログラム結果ログ <p style="text-align: center;">※「完成平面図」作成の適用工事のみ提出する資料</p> </td> </tr> </tbody> </table> <p>監督職員は、出図された完成平面図について、作成範囲、作成形状および地物データの作成漏れの有無等を目視により確認するものとする。</p> <p>加えて、請負者は、完成平面図を図形 SXF データで作成していることの確認を受けるため、完成平面図の出図にあたって、(財) 日本建設情報総合センターの運営する CALS/EC ポータルサイト (http://www.cals.jaic.or.jp/cad/download.htm) より提供される SXF ブラウザ Ver.3.0 以上の印刷機能を使用することで、図面のフッターに SXF ブラウザで印刷したことを示す印字を行うものとし、監督職員はこれを確認することとする。なお、完成平面図を SXF Ver.2.0 データで作成した場合にも、SXF ブラウザ Ver.3.0 以上で出図することとするが、作成に利用した CAD によっては、複数のラスタ形式の地形図を利用している場合に 2 枚目以降の地形図は出図されない可能性がある。この場合に限り、請負者は CAD ソフトから出図した完成平面図を添付してもよい。</p>	提出物	内容（本要領に関連するもの）	電子成果品 (CD-Rに格納)	工事管理ファイル (INDEX_C.XML) 図面管理ファイル (DRAWINGF.XML) 完成平面図 ：図形 SXF データ (拡張子 .p21) 完成平面図 ：属性 XML データ (拡張子 .saf) (SXF Ver. 2.0 では距離標属性データ (拡張子 .csv)) ラスタ地形図 TIFF データ (拡張子 .tif) (背景図として利用している場合) 完成縦断面図 (拡張子 .p21) その他管理ファイル (OTHERS.XML) 道路施設基本データ管理ファイル (ORG909.XML) 道路施設基本データ詳細情報 (拡張子 .csv) 道路施設基本データイメージ情報 (拡張子 .jpg, .p21, .pdf)	出力資料（紙出力）	<ul style="list-style-type: none"> ・チェック結果記録（様式 1） ・完成平面図[※] ・完成縦断面図[※] ・「完成平面図」チェック結果記録（様式 2）[*] ・道路工事完成図等チェックプログラム結果ログ <p style="text-align: center;">※「完成平面図」作成の適用工事のみ提出する資料</p>	縦横断情報の基となる情報として完成縦断面図の納品を新たに求めるため 完成平面図に記載された測点情報を確認するため完成縦断面図の出力が必要であるため
提出物	内容（本要領に関連するもの）															
電子成果品 (CD-Rに格納)	工事管理ファイル (INDEX_C.XML) 図面管理ファイル (DRAWINGF.XML) 図形 SXF データ (拡張子 .p21) 属性 XML データ (拡張子 .saf) (SXF Ver. 2.0 では距離標属性データ (拡張子 .csv)) ラスタ地形図 TIFF データ (拡張子 .tif) (背景図として利用している場合) その他管理ファイル (OTHERS.XML) 道路施設基本データ管理ファイル (ORG909.XML) 道路施設基本データ詳細情報 (拡張子 .csv) 道路施設基本データイメージ情報 (拡張子 .jpg, .p21, .pdf)															
出力資料（紙出力）	<ul style="list-style-type: none"> ・チェック結果記録（様式 1） ・完成平面図[※] ・「完成平面図」チェック結果記録（様式 2）[*] ・道路施設基本データの審査結果記録 ・道路工事完成図等チェックプログラム結果ログ <p style="text-align: center;">※「完成平面図」作成の適用工事のみ提出する資料</p>															
提出物	内容（本要領に関連するもの）															
電子成果品 (CD-Rに格納)	工事管理ファイル (INDEX_C.XML) 図面管理ファイル (DRAWINGF.XML) 完成平面図 ：図形 SXF データ (拡張子 .p21) 完成平面図 ：属性 XML データ (拡張子 .saf) (SXF Ver. 2.0 では距離標属性データ (拡張子 .csv)) ラスタ地形図 TIFF データ (拡張子 .tif) (背景図として利用している場合) 完成縦断面図 (拡張子 .p21) その他管理ファイル (OTHERS.XML) 道路施設基本データ管理ファイル (ORG909.XML) 道路施設基本データ詳細情報 (拡張子 .csv) 道路施設基本データイメージ情報 (拡張子 .jpg, .p21, .pdf)															
出力資料（紙出力）	<ul style="list-style-type: none"> ・チェック結果記録（様式 1） ・完成平面図[※] ・完成縦断面図[※] ・「完成平面図」チェック結果記録（様式 2）[*] ・道路工事完成図等チェックプログラム結果ログ <p style="text-align: center;">※「完成平面図」作成の適用工事のみ提出する資料</p>															
(24)	III. 電子納品編 1. チェック方法 データ審査機関の削除	監督職員は、上記の他、「4.チェック方法」に記載した完成平面図および道路施設基本データそれぞれのチェック結果をとりまとめたチェック結果記録（様式 1）と、完成平面図に関する請負者のチェック結果である「完成平面図」チェック結果記録（様式 2）、および道路施設基本データに関するデータ審査機関が発行する審査結果記録、並びに道路工事完成図等チェックプログラムによる結果ログにより、成果品内容の確認を行うものとする。なお、完成平面図および道路施設基本データの作成において解消されないエラーが残る場合、事前に監督職員への相談または作成支援サイト (http://www.nilim-cdrw.jp/) への問い合わせ（ヘルプデスク）、もしくは同サイトのデータチェックサービスの利用等を行い、対応方針について確認を行うものとする。 <p>また、電子媒体に格納してある電子データのチェックとして、電子納品チェックシステムを利用し、別途チェック結果を提出する際、完成平面図についてはレイヤ名の文字数に関するエラー（【エラー】記述内容が 11 文字を超えています）が検出される。これは、現行の CAD 製図基準（案）が 3 階層のレイヤ命名則を採用し、11 文字以上のレイヤ名を禁止していることに起因する。本要領では独自に 4 階層のレイヤ命名則を採用したことから、これを許容するものとする。</p>	監督職員は、出図された完成平面図について、作成範囲、作成形状および地物データの作成漏れの有無等を目視により確認するものとする。 <p>加えて、請負者は、完成平面図を図形 SXF データで作成していることの確認を受けるため、完成平面図の出図にあたって、(財) 日本建設情報総合センターの運営する CALS/EC ポータルサイト (http://www.cals.jaic.or.jp/cad/download.htm) より提供される SXF ブラウザ Ver.3.0 以上の印刷機能を使用することで、図面のフッターに SXF ブラウザで印刷したことを示す印字を行うものとし、監督職員はこれを確認することとする。なお、完成平面図を SXF Ver.2.0 データで作成した場合にも、SXF ブラウザ Ver.3.0 以上で出図することとするが、作成に利用した CAD によっては、複数のラスタ形式の地形図を利用している場合に 2 枚目以降の地形図は出図されない可能性がある。この場合に限り、請負者は CAD ソフトから出図した完成平面図を添付してもよい。</p>	データ審査機関による事前審査と審査結果記録の提出を削除し、データ作成支援機関の任意利用という表現に修正。												

番号	対象箇所、趣旨	平成18年8月版	改定版（平成20年3月）	修正理由
(25)	<p>III. 電子納品編 1. チェック方法</p> <p>SXFの新たなバージョンであるSXF Ver. 3.1への対応</p> <p>今後予定されている「CAD製図基準（案）」の改訂を考慮した構成の見直し</p>	<p>監督職員は、出図された完成平面図について、作成範囲、作成形状および地物データの作成漏れの有無等を目視により確認するものとする。</p> <p>加えて、請負者は、完成平面図を図形 SXF データで作成していることの確認を受けるため、完成平面図の出図にあたって、(財)日本建設情報総合センターの運営する CALS/EC ポータルサイト (http://www.cals.jaic.or.jp/cad/download.htm) より提供される SXF ブラウザ Ver.3.0 の印刷機能を使用することで、図面のフッターに SXF ブラウザで印刷したことを示す印字を行うものとし、監督職員はこれを確認することとする。なお、完成平面図を SXF Ver.2.0 データで作成した場合にも、SXF ブラウザ Ver.3.0 で出図することとするが、作成に利用した CAD によっては、複数のラスタ形式の地形図を利用している場合に 2 枚目以降の地形図は出図されない可能性がある。この場合に限り、請負者は CAD ソフトから出図した完成平面図を添付してもよい。</p>  <p>図 26 SXF ブラウザによる印刷イメージ</p> <p>監督職員は、上記の他、「4.チェック方法」に記載した完成平面図および道路施設基本データそれぞれのチェック結果をとりまとめたチェック結果記録（様式1）と、完成平面図に関する請負者のチェック結果である「完成平面図」チェック結果記録（様式2）、および道路施設基本データに関するデータ審査機関が発行する審査結果記録、並びに道路工事完成図等チェックプログラムによる結果ログにより、成果品内容の確認を行うものとする。なお、完成平面図および道路施設基本データの作成において解消されないエラーが残る場合、事前に監督職員への相談または作成支援サイト (http://www.nilim.cdrw.jp/) への問い合わせ（ヘルプデスク）、もしくは同サイトのデータチェックサービスの利用等を行い、対応方針について確認を行うものとする。</p> <p>また、電子媒体に格納してある電子データのチェックとして、電子納品チェックシステムを利用し、別途チェック結果を提出する際、完成平面図についてはレイヤ名の文字数に関するエラー（【エラー】記述内容が 11 文字を超えています）が検出される。これは、現行の CAD 製図基準（案）が 3 階層のレイヤ名則を採用し、11 文字以上のレイヤ名を禁止していることに起因する。本要領では独自に 4 階層のレイヤ名則を採用したことから、これを許容するものとする。</p>	<p>監督職員は、出図された完成平面図について、作成範囲、作成形状および地物データの作成漏れの有無等を目視により確認するものとする。</p> <p>加えて、請負者は、完成平面図を図形 SXF データで作成していることの確認を受けるため、完成平面図の出図にあたって、(財)日本建設情報総合センターの運営する CALS/EC ポータルサイト (http://www.cals.jaic.or.jp/cad/download.htm) より提供される SXF ブラウザ Ver.3.0 以上の印刷機能を使用することで、図面のフッターに SXF ブラウザで印刷したことを示す印字を行うものとし、監督職員はこれを確認することとする。なお、完成平面図を SXF Ver.2.0 データで作成した場合にも、SXF ブラウザ Ver.3.0 以上で出図することとするが、作成に利用した CAD によっては、複数のラスタ形式の地形図を利用している場合に 2 枚目以降の地形図は出図されない可能性がある。この場合に限り、請負者は CAD ソフトから出図した完成平面図を添付してもよい。</p>  <p>図 24 SXF ブラウザによる印刷イメージ</p> <p>監督職員は、上記の他、「4.チェック方法」に記載した完成平面図および道路施設基本データそれぞれのチェック結果をとりまとめたチェック結果記録（様式1）と、完成平面図に関する請負者のチェック結果である「完成平面図」チェック結果記録（様式2）、および道路工事完成図等チェックプログラムによる結果ログにより、成果品内容の確認を行うものとする。なお、完成平面図および道路施設基本データの作成において解消されないエラーが残る場合、事前に監督職員への相談または作成支援サイト (http://www.nilim.cdrw.jp/) への問い合わせ（ヘルプデスク）、もしくは同サイトのデータチェックサービスの利用等を経て、監督職員の了解を経た上で対応する。</p> <p>（補足）</p> <p>電子媒体に格納してある電子データのチェックとして、電子納品チェックシステムを利用し、別途チェック結果を提出する際、完成平面図についてはレイヤ名の文字数に関するエラー（【エラー】記述内容が 11 文字を超えています）が検出される。これは、現行の CAD 製図基準（案）が 3 階層のレイヤ名則を採用し、11 文字以上のレイヤ名を禁止していることに起因する。本要領では独自に 4 階層のレイヤ名則を採用したことから、これを許容するものとする。</p>	<p>SXF ver. 3.0以上を対象としたため</p> <p>「CAD製図基準（案）」の改訂により影響を受ける部分については、補足扱いとして整理した。</p>

番号	対象箇所、趣旨	平成18年8月版	改定版（平成20年3月）	修正理由
(26)	Ⅲ. 電子納品編 6. 電子納品時の確認方法 データ審査機関の削除	<p>(様式1)</p> <p>平成 年 月 日</p> <p>〇〇国道事務所 総括監督員 □□ □□ 殿</p> <p>〇〇建設株式会社 現場代理人 □□ □□ 印</p> <p>チェック結果記録</p> <p>本工事における道路工事完成図等のチェック結果を報告します。</p> <p>1. 工事名 〇〇〇〇工事</p> <p>2. 工期 平成〇〇年〇〇月〇〇日～平成〇〇年〇〇月〇〇日</p> <p>3. チェック結果 ・「完成平面図」のチェック結果の詳細は別紙チェック結果記録様式2に示します。 ・道路施設基本データについては、データ審査機関が発行する審査結果記録を添付します。</p> <p>4. 提出資料 【電子データ（CD-R 入り）】 一式 ・完成平面図 SXF データ ・道路施設基本データ ・管理ファイル</p> <p>【出力資料】 一式 ・チェック結果記録（様式1） ・完成平面図※ ・「完成平面図」チェック結果記録（様式2）※ ・道路施設基本データの審査結果記録 ・道路工事完成図等チェックプログラム結果ログ ※適用工事のみ提出する資料</p> <p>以上</p>	<p>(様式1)</p> <p>平成 年 月 日</p> <p>〇〇国道事務所 総括監督員 □□ □□ 殿</p> <p>〇〇建設株式会社 現場代理人 □□ □□ 印</p> <p>チェック結果記録</p> <p>本工事における道路工事完成図等のチェック結果を報告します。</p> <p>1. 工事名 〇〇〇〇工事</p> <p>2. 工期 平成〇〇年〇〇月〇〇日～平成〇〇年〇〇月〇〇日</p> <p>3. チェック結果 ・「完成平面図」のチェック結果の詳細は別紙チェック結果記録様式2に示します。</p> <p>4. 提出資料 【電子データ（CD-R 入り）】 一式 ・完成平面図 SXF データ ・完成縦断面 SXF データ ・道路施設基本データ ・管理ファイル</p> <p>【出力資料】 一式 ・チェック結果記録（様式1） ・完成平面図※ ・完成縦断面※ ・「完成平面図」チェック結果記録（様式2）※ ・道路工事完成図等チェックプログラム結果ログ ※適用工事のみ提出する資料</p> <p>以上</p>	データ審査機関による事前審査と審査結果記録の提出を削除。

番号	対象箇所、趣旨	平成18年8月版	改定版(平成20年3月)	修正理由																					
(27)	巻末資料1 30) 測点 測点地物の追加	-	<p>30) 測点</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 地物定義 道路の設計段階等で用いられる道路中心線上の点。 2. レイヤ名 C-BMK-BMKZ-STATION 3. 形状 点(マークコードは 2circle) 4. 色 緑 5. 作成方法 道路中心線上に点データとして作成する。 <div data-bbox="1232 239 1635 494" style="text-align: center;"> </div> <p>6. 属性項目</p> <table border="1" data-bbox="1227 510 1680 782"> <thead> <tr> <th>【属性】</th> <th>【定義】</th> <th>【記述例】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>設置日</td> <td>工事完了日(日本時間の年(西暦)、月、日の半角スペース区切り)。設置日が不明な場合は「不明」と入力する。</td> <td>2005 3 31</td> </tr> <tr> <td>測点番号</td> <td>測点箱に付与される番号。完成平面図、完成縦断面に記載された測点番号の値を入力する。</td> <td>2+0.000</td> </tr> <tr> <td>追加距離</td> <td>工事起点からの水平距離。完成縦断面に記載された追加距離を入力する。(小数点以下3桁、単位「m」)</td> <td>56.200</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>計画高位置における路面高さ(T.P.)。完成縦断面に記載された計画高(設計値)を入力する。設計値が取得できない場合は出来形測量結果を入力する。(小数点以下3桁、単位「m」)</td> <td>45.406</td> </tr> <tr> <td>横断勾配(左)</td> <td>工事起点から終点方向に向かって左側車線の横断勾配値。完成縦断面に記載された横断勾配(設計値)を入力する。設計値が取得できない場合は出来形測量結果を入力する。(小数点以下2桁、単位「%」)</td> <td>2.07</td> </tr> <tr> <td>横断勾配(右)</td> <td>工事起点から終点方向に向かって右側車線の横断勾配値。完成縦断面に記載された横断勾配(設計値)を入力する。設計値が取得できない場合は出来形測量結果を入力する。(小数点以下2桁、単位「%」)</td> <td>-1.75</td> </tr> </tbody> </table>	【属性】	【定義】	【記述例】	設置日	工事完了日(日本時間の年(西暦)、月、日の半角スペース区切り)。設置日が不明な場合は「不明」と入力する。	2005 3 31	測点番号	測点箱に付与される番号。完成平面図、完成縦断面に記載された測点番号の値を入力する。	2+0.000	追加距離	工事起点からの水平距離。完成縦断面に記載された追加距離を入力する。(小数点以下3桁、単位「m」)	56.200	高さ	計画高位置における路面高さ(T.P.)。完成縦断面に記載された計画高(設計値)を入力する。設計値が取得できない場合は出来形測量結果を入力する。(小数点以下3桁、単位「m」)	45.406	横断勾配(左)	工事起点から終点方向に向かって左側車線の横断勾配値。完成縦断面に記載された横断勾配(設計値)を入力する。設計値が取得できない場合は出来形測量結果を入力する。(小数点以下2桁、単位「%」)	2.07	横断勾配(右)	工事起点から終点方向に向かって右側車線の横断勾配値。完成縦断面に記載された横断勾配(設計値)を入力する。設計値が取得できない場合は出来形測量結果を入力する。(小数点以下2桁、単位「%」)	-1.75	縦横断情報を取得することを目的に測点地物を新たに定義したため
【属性】	【定義】	【記述例】																							
設置日	工事完了日(日本時間の年(西暦)、月、日の半角スペース区切り)。設置日が不明な場合は「不明」と入力する。	2005 3 31																							
測点番号	測点箱に付与される番号。完成平面図、完成縦断面に記載された測点番号の値を入力する。	2+0.000																							
追加距離	工事起点からの水平距離。完成縦断面に記載された追加距離を入力する。(小数点以下3桁、単位「m」)	56.200																							
高さ	計画高位置における路面高さ(T.P.)。完成縦断面に記載された計画高(設計値)を入力する。設計値が取得できない場合は出来形測量結果を入力する。(小数点以下3桁、単位「m」)	45.406																							
横断勾配(左)	工事起点から終点方向に向かって左側車線の横断勾配値。完成縦断面に記載された横断勾配(設計値)を入力する。設計値が取得できない場合は出来形測量結果を入力する。(小数点以下2桁、単位「%」)	2.07																							
横断勾配(右)	工事起点から終点方向に向かって右側車線の横断勾配値。完成縦断面に記載された横断勾配(設計値)を入力する。設計値が取得できない場合は出来形測量結果を入力する。(小数点以下2桁、単位「%」)	-1.75																							

番号	対象箇所、趣旨	平成18年8月版	改定版(平成20年3月)	修正理由
(28)	巻末資料2 2. SXF Ver. 2. 0による完成平面図の作成方法 1. SXF Ver. 3. xとの相違点 測点地物の追加	<h3>2. SXF Ver. 2. 0による完成平面図の作成方法</h3> <h4>1. SXF Ver. 3. 0との相違点</h4> <p>SXF Ver.2.0による完成平面図の作成方法には、SXF Ver.3.0と比べて以下の相違点がある。 なお、本巻末資料では、SXF Ver.3.0とSXF Ver.2.0の相違点を青字で記す。</p> <ul style="list-style-type: none"> 距離標以外の地物は、属性入力を行わない。 距離標の属性データを別途CSV形式*で作成するとともに、CAD上の距離標の点データと属性データと対応付けるため、点データに地物コードを配置する(図1参照)。 ラスタ形式の地形図を利用する際、ラスタ形式の地形図の図枠の作成およびファイル名コードの配置を行う。 <p>* : CSV形式は、データをカンマ(,)で区切って並べたテキストファイルであり、表計算ソフト等で保存する際、ファイル形式に「CSV(カンマ区切り)(*.CSV)」を選択することで作成される。通常、CSVファイルを表計算ソフトで開くと、カンマ区切り位置でセルに分割されて表示され、テキストエディタで開くと、カンマが表示される。</p> <div data-bbox="607 432 1093 655" style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">SXF Ver.2.0</p> <p>図形ファイル: SXF Ver.2.0 (.P21) 距離標属性データ: CSV (.CSV)</p>  <p style="text-align: center;">図形ファイルをSXF Ver.2.0(.P21)、距離標属性データをCSV形式で作成し、両者を地物コードで関連付ける。</p> </div> <p style="text-align: center;">図1 SXF Ver.2.0のファイル構成(イメージ)</p>	<h3>2. SXF Ver. 2. 0による完成平面図の作成方法</h3> <h4>1. SXF Ver. 3. xとの相違点</h4> <p>SXF Ver.2.0による完成平面図の作成方法には、SXF Ver.3.xと比べて以下の相違点がある。 なお、本巻末資料では、SXF Ver.3.xとSXF Ver.2.0の相違点を青字で記す。</p> <ul style="list-style-type: none"> 距離標および測点以外の地物は、属性入力を行わない。 距離標および測点の属性データを別途CSV形式*で作成するとともに、CAD上の距離標および測点の点データおよび属性データと対応付けるため、点データに地物コードを配置する(図1参照)。 ラスタ形式の地形図を利用する際、ラスタ形式の地形図の図枠の作成およびファイル名コードの配置を行う。 <p>* : CSV形式は、データをカンマ(,)で区切って並べたテキストファイルであり、表計算ソフト等で保存する際、ファイル形式に「CSV(カンマ区切り)(*.CSV)」を選択することで作成される。通常、CSVファイルを表計算ソフトで開くと、カンマ区切り位置でセルに分割されて表示され、テキストエディタで開くと、カンマが表示される。</p> <div data-bbox="1211 432 1688 655" style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">SXF Ver.2.0</p> <p>図形ファイル: SXF Ver.2.0 (.P21) 距離標・測点属性データ: CSV</p>  <p style="text-align: center;">図形ファイルをSXF Ver.2.0(.P21)、距離標・測点属性データをCSV形式で作成し、両者を地物コードで関連付ける。</p> </div> <p style="text-align: center;">図1 SXF Ver.2.0のファイル構成(イメージ)</p>	縦横断情報を取得することを目的に測点地物を新たに定義したため

番号	対象箇所、趣旨	平成18年8月版	改定版（平成20年3月）	修正理由																		
(29)	巻末資料2 2. 作成方法 測点地物の追加	<h2>2. 作成方法</h2> <h3>2-1. 図形データの作成</h3> <p>SXF Ver.2.0 で完成平面図を作成する場合、属性データを入力するのは距離標のみとし、距離標の点データ上に地物コードを配置して CSV ファイルで作成した属性データと関連付ける。</p> <p>なお、地物コードの配置にあたっては、配置基点を基に対応する距離標の点データを抽出するため、配置基点と点データの位置（座標）とを一致させる必要がある。</p> <p style="text-align: center;">表 1 距離標データ作成方法の違い</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;"></th> <th style="width: 45%;">SXF Ver.3.0</th> <th style="width: 45%;">SXF Ver.2.0</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">距離標データ</td> <td>点データに属性データが組み込まれる </td> <td>地物コードで CSV ファイルの属性データと関連付ける </td> </tr> <tr> <td style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">測点データ</td> <td>点データに属性データが組み込まれる </td> <td>地物コード（測点番号）で CSV ファイルの属性データと関連付ける </td> </tr> </tbody> </table> <p>距離標の地物コードの作成ルールを以下に示す。</p> <ul style="list-style-type: none"> 距離標の地物コードは、「KP」 + 3桁の通し番号（001～） + 上下区分（上下線共通：C, 上り線：U, 下り線：D）」を半角で記述する。なお、距離標を測点で代用する場合は、「KP」の代わりに「NO」と記述する。 地物コードの配置基点は、縦方向は底辺、横方向は左に合わせる（左下：通常 SXF (. P21) でデフォルトに設定される位置）。 地物コードを配置する際には、テキストのマージンの設定を“0”とする。 地物コードは、1/1000 等で印刷する際の見かけ高さが 3mm 程度になるよう設定する。 縦書き文字の使用、文字の回転等は行わない。 <p>また、SXF 形式で保存した際に、地物コードの文字と図形が重なり見づらくなることもある。この場合においても、距離標の属性データが配置基点と関連付けられているため、配置基点を自動調整しないように CAD ソフトの設定を“補正しない”および“調整しない”等としてむやみに配置基点を移動させてはならない。</p>		SXF Ver.3.0	SXF Ver.2.0	距離標データ	点データに属性データが組み込まれる 	地物コードで CSV ファイルの属性データと関連付ける 	測点データ	点データに属性データが組み込まれる 	地物コード（測点番号）で CSV ファイルの属性データと関連付ける 	<h2>2. 作成方法</h2> <h3>2-1. 図形データの作成</h3> <p>SXF Ver.2.0 で完成平面図を作成する場合、属性データを入力するのは距離標および測点とし、距離標および測点の点データ上に地物コードを配置して CSV ファイルで作成した属性データと関連付ける。</p> <p>なお、地物コードの配置にあたっては、配置基点を基に対応する距離標および測点の点データを抽出するため、配置基点と点データの位置（座標）とを一致させる必要がある。</p> <p style="text-align: center;">表 1 距離標および測点のデータ作成方法の違い</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;"></th> <th style="width: 45%;">SXF Ver.3.0</th> <th style="width: 45%;">SXF Ver.2.0</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">距離標データ</td> <td>点データに属性データが組み込まれる </td> <td>地物コードで CSV ファイルの属性データと関連付ける </td> </tr> <tr> <td style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">測点データ</td> <td>点データに属性データが組み込まれる </td> <td>地物コード（測点番号）で CSV ファイルの属性データと関連付ける </td> </tr> </tbody> </table> <p>距離標および測点の地物コードの作成ルールを以下に示す。</p> <ul style="list-style-type: none"> 距離標の地物コードは、「KP」 + 3桁の通し番号（001～） + “上下区分（上下線共通：C, 上り線：U, 下り線：D）”を半角で記述する。なお、測点情報を用いて距離標地物を作成する場合、「KP」に換えて“NO”を表示する。 道路中心線上の測点の地物コードは、完成縦断面に記載された測点番号を基に、「測点番号” + “追加距離”を半角で記述する。記述する測点番号（測点番号” + “追加距離”）は、CSV ファイルで作成した属性データと関連付けるため、重複することなく一意に定義する。なお、インターチェンジのランプ等において、測点番号が重複する場合、測点番号の前にランプ名称を付記する等の措置により、測点番号を差別化する。例えば、ランプ名称が“A”、測点番号が“2”、追加距離が“5.252”の場合は、“NO A2+5.252”と入力する。 地物コードの配置基点は、縦方向は底辺、横方向は左に合わせる（左下：通常 SXF (. P21) でデフォルトに設定される位置）。 地物コードを配置する際には、テキストのマージンの設定を“0”とする。 		SXF Ver.3.0	SXF Ver.2.0	距離標データ	点データに属性データが組み込まれる 	地物コードで CSV ファイルの属性データと関連付ける 	測点データ	点データに属性データが組み込まれる 	地物コード（測点番号）で CSV ファイルの属性データと関連付ける 	<p>縦横断情報を取得することを目的に測点地物を新たに定義したため</p>
	SXF Ver.3.0	SXF Ver.2.0																				
距離標データ	点データに属性データが組み込まれる 	地物コードで CSV ファイルの属性データと関連付ける 																				
測点データ	点データに属性データが組み込まれる 	地物コード（測点番号）で CSV ファイルの属性データと関連付ける 																				
	SXF Ver.3.0	SXF Ver.2.0																				
距離標データ	点データに属性データが組み込まれる 	地物コードで CSV ファイルの属性データと関連付ける 																				
測点データ	点データに属性データが組み込まれる 	地物コード（測点番号）で CSV ファイルの属性データと関連付ける 																				

(30) 巻末資料2 2-2. レイヤ分類
測点地物の追加

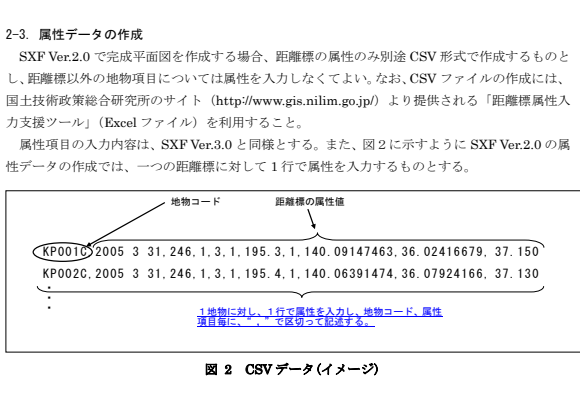
表2 SXF Ver.2.0のレイヤ分類一覧表

分類	図形名称	レイヤ名	図形要素		着色	備考
			面	線・点 (注釈: 注2)		
本表 備で 規定 した 地物 を 格 納 す る レ イ ヤ	道路中心線	C-BMK	●	●	黄	
	距離標	C-BMK-BMK-KMPOST	●	●	黄	距離標の地物コードを適用
	管理区境界	C-BMK-BMKZ-BOUNDARY	●	●	緑	
	管理区境界	C-BMK-BMKZ-BOUNDARY	●	●	緑	距離標の地物コードを適用
	車道部	C-STR-STRZ-ROADWAY	●	●	緑	道路線を構成する地物
	車道交差部	C-STR-STRZ-CROSSING	●	●	緑	隣接する面データの境界形状一致が必要
	踏切道	C-STR-STRZ-RAILROADCROSS	●	●	黄	
	踏切道	C-STR-STRZ-TRAMAREA	●	●	黄	
	島	C-STR-STRZ-ISLAND	●	●	黄	
	踏面電車停留所	C-STR-STRZ-TRAMSTOP	●	●	黄	
	歩道部	C-STR-STRZ-SIDEWALK	●	●	緑	
	自転車駐車場	C-STR-STRZ-BICYCLEPARK	●	●	緑	
	自転車駐車場	C-STR-STRZ-CARPARK	●	●	緑	
	緑地	C-STR-STRZ-PLANT	●	●	緑	道路線以外を構成する地物 (隣接する面データの形状一致は必要としない)
	区画線	C-STR-STRZ-LOTLINE	●	●	白	
	線形歩道	C-STR-STRZ-CROSSWALK	●	●	白	
	線形歩道橋	C-STR-STRZ-PEDESTRIANBRIDGE	●	●	白	
	地下線歩道	C-STR-STRZ-UNDERPASSWALK	●	●	白	
	建築物	C-STR-STRZ-BUILDING	●	●	茶	
	橋脚	C-STR-STRZ-PIER	●	●	茶	
護土法面	C-STR-STRZ-BANK	●	●	茶		
切土法面	C-STR-STRZ-CUT	●	●	茶		
斜面対策工	C-STR-STRZ-SLOPE	●	●	茶		
擁壁	C-STR-STRZ-WALL	●	●	茶		
ボックス	C-STR-STRZ-BOX	●	●	茶		
シェルター	C-STR-STRZ-SHELTER	●	●	茶		
橋梁	C-STR-STRZ-BRIDGE	●	●	茶		
トンネル	C-STR-STRZ-TUNNEL	●	●	茶		
その他	C-TIL	●	●	黄	図面表記用 (図枠、表題欄、地形図)	
3/4枠	C-TIL-FRAM	●	●	黄		
図面線	C-TIL-LINE	●	●	黄		
文字列	C-TIL-TXT	●	●	黄		
図面線	C-BSD	●	●	黄		
等距離の計画線	C-BSD-HIGN	●	●	黄		
等距離の主軸線	C-BSD-LIGN	●	●	黄		
主な線形構造物	C-BSD-CRST	●	●	黄		
231年された地物	C-BSD-RESIK	●	●	黄	●: 231年形式の地物図を利 用する場合は、図枠ファイルに ※コードを適用	
物に類似すべき状況地物	C-BSD-EXST	●	●	黄		
取上げ	C-BSD-HITX	●	●	黄		
高さとなる点 (測量点等)	C-BMK-SHVK	●	●	黄		
用地境界 (傾斜)	C-BMK-ROIN	●	●	黄		
取上げ	C-BMK-HITX	●	●	黄		
主構造物外軸線 (道路幅員)	C-STR	●	●	黄		
構造物 (橋脚)	C-STR-STR1	●	●	黄		
構造物 (トンネル)	C-STR-STR2	●	●	黄		
取上げ	C-STR-HITX	●	●	黄		
のり、のりま、雪つらみ、取車 等	C-DRZ	●	●	黄		

凡例: ●: SXF Ver. 3.0で規定、●: SXF Ver. 2.0用に新たに追加

2-3. 属性データの作成
SXF Ver.2.0で完成平面図を作成する場合、距離標の属性のみ別途 CSV 形式で作成するものとし、距離標以外の地物項目については属性を入力しなくてよい。なお、CSV ファイルの作成には、国土技術政策総合研究所のサイト (<http://www.gis.niim.go.jp/>) より提供される「距離標属性入力支援ツール」(Excel ファイル) を利用すること。

属性項目の入力内容は、SXF Ver.3.0と同様とする。また、図2に示すように SXF Ver.2.0の属性データの作成では、一つの距離標に対して1行で属性を入力するものとする。



(31) 巻末資料2 2-3. 属性データの作成
測点の属性に関する情報の追加

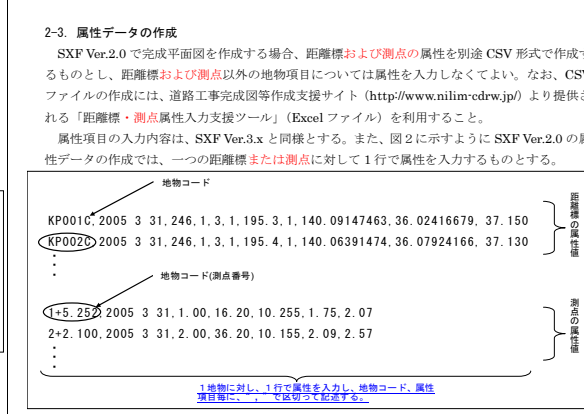
表2 SXF Ver.2.0のレイヤ分類一覧表

分類	図形名称	レイヤ名	図形要素		着色	備考
			面	線・点 (注釈: 注2)		
本表 備で 規定 した 地物 を 格 納 す る レ イ ヤ	道路中心線	C-BMK	●	●	黄	
	距離標	C-BMK-BMK-KMPOST	●	●	黄	距離標の地物コードを適用
	管理区境界	C-BMK-BMKZ-BOUNDARY	●	●	緑	
	管理区境界	C-BMK-BMKZ-BOUNDARY	●	●	緑	距離標の地物コードを適用
	車道部	C-STR-STRZ-ROADWAY	●	●	緑	道路線を構成する地物
	車道交差部	C-STR-STRZ-CROSSING	●	●	緑	隣接する面データの境界形状一致が必要
	踏切道	C-STR-STRZ-RAILROADCROSS	●	●	黄	
	踏切道	C-STR-STRZ-TRAMAREA	●	●	黄	
	島	C-STR-STRZ-ISLAND	●	●	黄	
	踏面電車停留所	C-STR-STRZ-TRAMSTOP	●	●	黄	
	歩道部	C-STR-STRZ-SIDEWALK	●	●	緑	
	自転車駐車場	C-STR-STRZ-BICYCLEPARK	●	●	緑	
	自転車駐車場	C-STR-STRZ-CARPARK	●	●	緑	
	緑地	C-STR-STRZ-PLANT	●	●	緑	道路線以外を構成する地物 (隣接する面データの形状一致は必要としない)
	区画線	C-STR-STRZ-LOTLINE	●	●	白	
	線形歩道	C-STR-STRZ-CROSSWALK	●	●	白	
	線形歩道橋	C-STR-STRZ-PEDESTRIANBRIDGE	●	●	白	
	地下線歩道	C-STR-STRZ-UNDERPASSWALK	●	●	白	
	建築物	C-STR-STRZ-BUILDING	●	●	茶	
	橋脚	C-STR-STRZ-PIER	●	●	茶	
護土法面	C-STR-STRZ-BANK	●	●	茶		
切土法面	C-STR-STRZ-CUT	●	●	茶		
斜面対策工	C-STR-STRZ-SLOPE	●	●	茶		
擁壁	C-STR-STRZ-WALL	●	●	茶		
ボックス	C-STR-STRZ-BOX	●	●	茶		
シェルター	C-STR-STRZ-SHELTER	●	●	茶		
橋梁	C-STR-STRZ-BRIDGE	●	●	茶		
トンネル	C-STR-STRZ-TUNNEL	●	●	茶		
その他	C-TIL	●	●	黄	図面表記用 (図枠、表題欄、地形図)	
3/4枠	C-TIL-FRAM	●	●	黄		
図面線	C-TIL-LINE	●	●	黄		
文字列	C-TIL-TXT	●	●	黄		
図面線	C-BSD	●	●	黄		
等距離の計画線	C-BSD-HIGN	●	●	黄		
等距離の主軸線	C-BSD-LIGN	●	●	黄		
主な線形構造物	C-BSD-CRST	●	●	黄		
231年された地物	C-BSD-RESIK	●	●	黄	●: 231年形式の地物図を利 用する場合は、図枠ファイルに ※コードを適用	
物に類似すべき状況地物	C-BSD-EXST	●	●	黄		
取上げ	C-BSD-HITX	●	●	黄		
高さとなる点 (測量点等)	C-BMK-SHVK	●	●	黄		
用地境界 (傾斜)	C-BMK-ROIN	●	●	黄		
取上げ	C-BMK-HITX	●	●	黄		
主構造物外軸線 (道路幅員)	C-STR	●	●	黄		
構造物 (橋脚)	C-STR-STR1	●	●	黄		
構造物 (トンネル)	C-STR-STR2	●	●	黄		
取上げ	C-STR-HITX	●	●	黄		
のり、のりま、雪つらみ、取車 等	C-DRZ	●	●	黄		

凡例: ●: SXF Ver. 3.xで規定、●: SXF Ver. 2.0用に新たに追加

2-3. 属性データの作成
SXF Ver.2.0で完成平面図を作成する場合、距離標および測点の属性を別途 CSV 形式で作成するものとし、距離標および測点以外の地物項目については属性を入力しなくてよい。なお、CSV ファイルの作成には、道路工事完成図等作成支援サイト (<http://www.niim-cdrw.jp/>) より提供される「距離標・測点属性入力支援ツール」(Excel ファイル) を利用すること。

属性項目の入力内容は、SXF Ver.3.xと同様とする。また、図2に示すように SXF Ver.2.0の属性データの作成では、一つの距離標または測点に対して1行で属性を入力するものとする。



なお、道路中心線上の測点の属性として、設置日、測点番号、追加距離、高さ、横断勾配(右)、横断勾配(左)を入力する。

縦横断情報を取得することを目的に測点地物を新たに定義したため

縦横断情報を取得することを目的に測点地物を新たに定義したため

番号	対象箇所、趣旨	平成18年8月版	改定版（平成20年3月）	修正理由																																																																																																																																																																
(32)	巻末資料3 3- 20, 27, 33, 35, 37, 39, 40, 43, 46, 47, 48, 49, 51, 52, 56) 1. 道路施設基本データ詳細情報・管理ファイル作成方法 4. 詳細情報のフォーマット 和暦→西暦	4-2 構造物 (1) D010 橋梁基本 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目名</th> <th rowspan="2">定義</th> <th rowspan="2">データ表現</th> <th colspan="2">文字数</th> <th rowspan="2">単位</th> </tr> <tr> <th>全体</th> <th>小数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>路線</td> <td>該当する路線を表す。</td> <td>文字</td> <td>4</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>現旧区分C</td> <td>該当する路線の現旧区分を表す。</td> <td>文字</td> <td>1</td> <td></td> <td>コード</td> </tr> <tr> <td>整理番号1</td> <td>該当する橋梁を識別するためのデータである。</td> <td>文字</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>整理番号2</td> <td>同上</td> <td>文字</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>整理番号3</td> <td>同上</td> <td>文字</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>補助番号</td> <td>同上</td> <td>文字</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>橋梁コード</td> <td>該当する区間の橋梁コード。整理番号1で記入した同一4桁の橋梁コードを記入。</td> <td>文字</td> <td>4</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>分割区分C</td> <td>該当する橋梁の分割区分を表す。</td> <td>文字</td> <td>1</td> <td></td> <td>コード</td> </tr> <tr> <td>施設改修年度</td> <td>施設を改修した年度。(年は和暦) 年号コードは、0：明治以前、1：明治、2：大正、3：昭和、4：平成とし、年号+年とする。 例) 平成8年→408</td> <td>文字</td> <td>3</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>名称</td> <td>橋梁名称を表す。(10文字以内の日本語(漢字、ひらがな、カタカナ、英数字))</td> <td>文字</td> <td>20</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>橋梁種別C</td> <td>橋梁種別を表す。</td> <td>文字</td> <td>1</td> <td></td> <td>コード</td> </tr> <tr> <td>橋梁区分C</td> <td>橋梁区分を表す。</td> <td>文字</td> <td>1</td> <td></td> <td>コード</td> </tr> </tbody> </table>	項目名	定義	データ表現	文字数		単位	全体	小数	路線	該当する路線を表す。	文字	4			現旧区分C	該当する路線の現旧区分を表す。	文字	1		コード	整理番号1	該当する橋梁を識別するためのデータである。	文字	—			整理番号2	同上	文字	—			整理番号3	同上	文字	—			補助番号	同上	文字	—			橋梁コード	該当する区間の橋梁コード。整理番号1で記入した同一4桁の橋梁コードを記入。	文字	4			分割区分C	該当する橋梁の分割区分を表す。	文字	1		コード	施設改修年度	施設を改修した年度。(年は和暦) 年号コードは、0：明治以前、1：明治、2：大正、3：昭和、4：平成とし、年号+年とする。 例) 平成8年→408	文字	3	0		名称	橋梁名称を表す。(10文字以内の日本語(漢字、ひらがな、カタカナ、英数字))	文字	20			橋梁種別C	橋梁種別を表す。	文字	1		コード	橋梁区分C	橋梁区分を表す。	文字	1		コード	4-2 構造物 (1) D010 橋梁基本 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目名</th> <th rowspan="2">定義</th> <th rowspan="2">データ表現</th> <th colspan="2">文字数</th> <th rowspan="2">単位</th> </tr> <tr> <th>全体</th> <th>小数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>路線</td> <td>該当する路線を表す。</td> <td>文字</td> <td>4</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>現旧区分C</td> <td>該当する路線の現旧区分を表す。</td> <td>文字</td> <td>1</td> <td></td> <td>コード</td> </tr> <tr> <td>整理番号1</td> <td>該当する橋梁を識別するためのデータである。</td> <td>文字</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>整理番号2</td> <td>同上</td> <td>文字</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>整理番号3</td> <td>同上</td> <td>文字</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>補助番号</td> <td>同上</td> <td>文字</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>橋梁コード</td> <td>該当する区間の橋梁コード。整理番号1で記入した同一4桁の橋梁コードを記入。</td> <td>文字</td> <td>4</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>分割区分C</td> <td>該当する橋梁の分割区分を表す。</td> <td>文字</td> <td>1</td> <td></td> <td>コード</td> </tr> <tr> <td>施設改修年度</td> <td>施設を改修した年度。(年は西暦)</td> <td>文字</td> <td>4</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>名称</td> <td>橋梁名称を表す。(10文字以内の日本語(漢字、ひらがな、カタカナ、英数字))</td> <td>文字</td> <td>20</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>橋梁種別C</td> <td>橋梁種別を表す。</td> <td>文字</td> <td>1</td> <td></td> <td>コード</td> </tr> <tr> <td>橋梁区分C</td> <td>橋梁区分を表す。</td> <td>文字</td> <td>1</td> <td></td> <td>コード</td> </tr> </tbody> </table>	項目名	定義	データ表現	文字数		単位	全体	小数	路線	該当する路線を表す。	文字	4			現旧区分C	該当する路線の現旧区分を表す。	文字	1		コード	整理番号1	該当する橋梁を識別するためのデータである。	文字	—			整理番号2	同上	文字	—			整理番号3	同上	文字	—			補助番号	同上	文字	—			橋梁コード	該当する区間の橋梁コード。整理番号1で記入した同一4桁の橋梁コードを記入。	文字	4			分割区分C	該当する橋梁の分割区分を表す。	文字	1		コード	施設改修年度	施設を改修した年度。(年は西暦)	文字	4	0		名称	橋梁名称を表す。(10文字以内の日本語(漢字、ひらがな、カタカナ、英数字))	文字	20			橋梁種別C	橋梁種別を表す。	文字	1		コード	橋梁区分C	橋梁区分を表す。	文字	1		コード	道路施設基本データ作成支援システムおよび道路工事完成図等チェックプログラムの仕様との整合を図った。(他、同様の趣旨で14箇所)
項目名	定義	データ表現				文字数			単位																																																																																																																																																											
			全体	小数																																																																																																																																																																
路線	該当する路線を表す。	文字	4																																																																																																																																																																	
現旧区分C	該当する路線の現旧区分を表す。	文字	1		コード																																																																																																																																																															
整理番号1	該当する橋梁を識別するためのデータである。	文字	—																																																																																																																																																																	
整理番号2	同上	文字	—																																																																																																																																																																	
整理番号3	同上	文字	—																																																																																																																																																																	
補助番号	同上	文字	—																																																																																																																																																																	
橋梁コード	該当する区間の橋梁コード。整理番号1で記入した同一4桁の橋梁コードを記入。	文字	4																																																																																																																																																																	
分割区分C	該当する橋梁の分割区分を表す。	文字	1		コード																																																																																																																																																															
施設改修年度	施設を改修した年度。(年は和暦) 年号コードは、0：明治以前、1：明治、2：大正、3：昭和、4：平成とし、年号+年とする。 例) 平成8年→408	文字	3	0																																																																																																																																																																
名称	橋梁名称を表す。(10文字以内の日本語(漢字、ひらがな、カタカナ、英数字))	文字	20																																																																																																																																																																	
橋梁種別C	橋梁種別を表す。	文字	1		コード																																																																																																																																																															
橋梁区分C	橋梁区分を表す。	文字	1		コード																																																																																																																																																															
項目名	定義	データ表現	文字数		単位																																																																																																																																																															
			全体	小数																																																																																																																																																																
路線	該当する路線を表す。	文字	4																																																																																																																																																																	
現旧区分C	該当する路線の現旧区分を表す。	文字	1		コード																																																																																																																																																															
整理番号1	該当する橋梁を識別するためのデータである。	文字	—																																																																																																																																																																	
整理番号2	同上	文字	—																																																																																																																																																																	
整理番号3	同上	文字	—																																																																																																																																																																	
補助番号	同上	文字	—																																																																																																																																																																	
橋梁コード	該当する区間の橋梁コード。整理番号1で記入した同一4桁の橋梁コードを記入。	文字	4																																																																																																																																																																	
分割区分C	該当する橋梁の分割区分を表す。	文字	1		コード																																																																																																																																																															
施設改修年度	施設を改修した年度。(年は西暦)	文字	4	0																																																																																																																																																																
名称	橋梁名称を表す。(10文字以内の日本語(漢字、ひらがな、カタカナ、英数字))	文字	20																																																																																																																																																																	
橋梁種別C	橋梁種別を表す。	文字	1		コード																																																																																																																																																															
橋梁区分C	橋梁区分を表す。	文字	1		コード																																																																																																																																																															